

Catalog 2021-#1

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com



(Catalog 2021-#1 紙版使用表紙ジャケット)

KARINE POLWART & DAVE MILLIGAN/Still As Your Sleeping(Scotland) (Scotland)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。

プライス・コード{a ¥1690/A ¥1890/B ¥2090/C ¥2250/D ¥2490}

(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

(送料)

※ご注文枚数に関係なく《一律250円》郵送

ただしLPを含む場合は一律500円。

※代金引換送料(郵送): 初回390円/二回目以降590円何枚でも)

LPを含む場合は+250円。

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

【ご注文はできるだけ11/2までをお願いします】

注文方法1の場合を除き、発送はご注文受取り後約5日以内になりたいと思っておりますが、無理な場合もあります。締切日に近いご注文の場合は、2週間ほどかかる場合もあります。電話注文はお受けしておりません。

- お問合せはメールにてお願いします。
- ご注文の際、プライス又はプライス・コードをお書き願います。
- カタログは郵便にてお届けします。

(およそ一年ぶりの通販カタログ)

*皆さん如何お過してましたか?この間、数々のメールやお電話をありがとうございました。

*昨年秋頃から体調不良を感じ始めたのとコロナで仕入れにトラブルが多々あったことなどから休養を決めました。体調不良の一番の原因は過度のパソコン作業と自己診断したのがずばりの中し、ひと月後には体調万全にまで快復しました。休養気分の暮らしは何とも気が楽で、中々通販カタログを発行する気が起こりませんでした。

*この間も在庫整理でアマゾンに出品しているCDの注文が毎日適当な量飛び込んできていて、良い生活のリズムになっています。世の中タムボリン向きの音楽愛好者がこれほどいるのかと驚いています。メルカリにも少し出していますが、昔仕入れていて売れ残っていた香港の歌手のCD三枚(一枚4万円)が瞬時にして完売したのは驚きでした。

*この休業の間に堀田はりいの名でまた一冊書き上げました。書名は『卑弥呼の時代』。11月中旬の刊行予定(実は10月15日刊行予定だったのですが、編集担当者が突然お亡くなりになって、発売が延びています)で、最後の頁で予約注文をお受けします。60歳代は創作活動を！の人生設計通り、本書を含め4冊(電子書籍の童話を加えると5冊)刊行出来ました。60代最後は音楽の本のつもりでしたが、音楽関係の出版社の社主を務める知人に相談したら、「今CDの本は売れない」のひと言で諦めました。

*今回の通販カタログの発行に当たり、新譜情報を調べてみたのですが、コロナの影響でしょうね、「これっ！」と思うような新譜はあまり発売されてないですね。Andy Irvineがノルウェーのシンガーと“Live In Telemark”というライブ盤を発表していて期待したのですが、内容はAndy Irvineがゲスト的な参加で、Andy自体のヴァージョンもぱっとしない印象でした。

*今回選んだCDは結果的に「肌合う音楽」という感じでしょうか。珍しく日本のシンガーのCD(Yanomanこと矢野あきらさんのCD)を販売していますが、これは長年付き合いのある元スキップ楽団の大坪淳さんからいただいたCDで、自分の肌にぴったしの音楽で是非とも紹介したいと思いました。また開店当初からのお客さまのMさん(当時は大学生)からLPの購入を頼まれて聴いたHENRY PARKER:Silent Springも自分の肌にぴったしの音楽で、機会があれば紹介したいと思っていました。今回CDを販売しています。

*今回は在庫整理が中心のカタログになりました。みつけものがあるかも知れません。

(分割払い)

*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は12月31日まででOKです。

Book, Re-issue, USA, British Folk, England, Scotland, Ireland,
USA(Trad), Europe 他, 『卑弥呼の時代』 予約注文, あとがき

(ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です)

[CD/JAPAN]



(Yanoman)

*YANOMAN: はらっぱコンサート

税込み¥2000

(1977年に大阪で結成されたスキップ楽団の結成メンバーで、リード・ヴォーカルを担当していた Yanoman こと矢野あきら {故人} が新たなバンド編成で 1993 年頃に行ったライブの CD 化。Yanoman の唄の世界は彼の少年時代の路地裏などの遊び場の世界や少年が風景を眺めて思いを馳せるような世界。子どもの頃に同じような体験や気分を味わった者故か、彼の唄は懐かしさのまま、すぐ様馴染んでしまうほどだが、彼の唄の何よりの魅力は、少年～青年目線で輝いているのと唄が浮き雲のように飄々としていること。そして音楽性がブルース、フォーク、カントリー、ジャグバンド等オール・アメリカン・ルーツミュージック+ロック、レゲエの幅で豊かなこと。さらに加えて、音楽が彼の飄々として平和な唄の世界と一体化していて、そのゆるくあたたかみのある音楽世界はどことなくか Ronnie Lane 風であること。彼の音楽趣味の良さと音楽が彼自身の唄の世界にぴったしとハマっていて、彼独自の唄・音楽世界を創作していて、素晴らしいの一言。本ライブの CD 化は本当に有り難いと、聴いて思った。1993 年頃/2021 作。たまらんきレーベル)

[CD/JAPAN {Celtic, Harp}]

*Ceis: Wandering Aengus 税込み¥2500
 (Ceis {ケーシュ}～生山早弥香 {アイリッシュ・ハープ} & AGATA {ヴォーカル、ケルティック・ハープ}～
 「生山早弥香はハープ演奏に曲の魂をとらえつつ、スコットランドやアイルランドの音楽に心酔してきた。今、彼女はこれらの伝承曲の中から偉大な歌に注目する。それらの歌を日本語に替え、ケーシュは新たな聴き手と、より深き味わいを求める聴き手に向けて、信じられないほど見事な曲をくり広げている」イギリスの音楽雑誌「The Living Tradition」の前編集長ピート・ヘイウッド) 2013 作。たまらん)

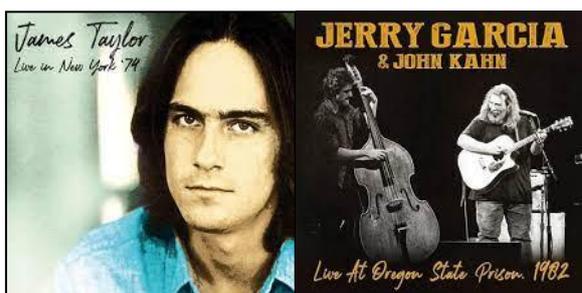
※本 CD のみご購入の方はご注文分の送料が無料になります。

*生山早弥香: Light (2011 作。たまらん) 税込み¥2500
 「「Light」を聴けば、アイリッシュ・ミュージックとスコティッシュ・ミュージックの技と型に精通した音楽家であることがはっきりとわかる。魅惑の精妙さと、演奏法の、いくつかの歓喜の展開が彼女の演奏に宿っていて、壮麗な気分を経験させる」
 (イギリスの音楽雑誌「fROOTS」の 2012 年 6 月号)

※本 CD のみご購入の方はご注文分の送料が無料になります。

[リイシュー/Historic Recording]

(CD/U. S. A.)



(James Taylor)

(J. Garcia & J. Kahn)

*JAMES TAYLOR: Live In New York '74

B

(James Taylor が彼の 5 枚目“Walk Man”のプロモーションで行ったニューヨークのカーネギーホールでの 1974 年の FM 音源のライブ 2 枚組。収録曲目は一枚目と二枚目を中心にした全 22 曲。いやはやめちゃフレッシュ。音質もそうだが、James Taylor の弾き語りの唄もバックバンド～Hugh McCracken, David Spinozza, Rick Marotta [Morrata と誤記], Andy Musson 他～付きのシティー・ソウル風なもの懐かしくもあり、新鮮でもある。このサウンド体験がなければ、シティーポップもなかったかも。この時代、James Taylor の素朴な弾き語りとスタメンを廃した SSW 音楽が及ぼした影響は絶大。ゲスト: Carly Simon。2020 作。Timeline))

*JERRY GARCIA & JOHN KAHN

:Live At Oregon State Prison 1982 A

(Grateful Dead の J. Garcia とベース奏者の John Kahn の気心の知れた二人による 1982 年 5 月 5 日にオレゴン州立刑務所で行われたアコースティック・コンサートの FM 音源ライブ。Bob Dylan の“It Takes A Lot To Laugh (, It Takes a Train to Cry)”や Grateful Dead のレパートリーの“I’ve Been All Around This World” [トラッド曲] や Dead や Bob Dylan のレパートリーの“Jack-A-Roe” [トラッド曲] 等、Jerry Garcia の飄々としてスルメ味的な味わいがじっくりと味わえる好盤。スタイルはフォークなのに、超フォーク的なのが彼らしい。全 11 曲。1982 年/2020 作。Timeline)

*DIANNE DAVIDSON: Mountain Mama

A

(メンフィス生まれでテネシー育ちの Dianne Davidson の三枚目。70 年代 SSW 系アルバムそしてスワンプの名盤。1972 年/2015 作? Dianne Davidson)

(LP/B R I T I S H F O L K) 値下げ!

*BERT JANSCH: Moonshine

A

(名盤中の名盤。1973 年/2015 作。Earth)

*BERT JANSCH: L. A. Turnaround

A

(名盤中の名盤。1000 枚限定カラー。1974 年/2018 作。Earth)

(CD/B R I T A I N & I R E L A N D 他)

*ROBIN & BARRY DRANSFIELDS: Up To Now ¥1000

(見本盤でブックレットの表紙はなく必要最小限の情報。トレイ [裏ジャケット] は正規盤と同じ。Robin & Bary Dransfield 兄弟の 1970 年代の音源からの二枚組編集盤。未発表曲 11 曲を含む全 39 曲。1997 年。Free Reed)

*TONY ROSE: Under The Greenwood Tree

D

(2004 年に CDR で CD 化された 1970 年代ブリティッシュ・トラッドの名盤中の名盤。Tony Rose の英国トラッドの芳香に満ちたシンギングと自身のギター、コンサーティーナほか Dolly Collins のフルート・オルガン、Peter Knight のフィドル、John Kirkpatrick のアコーディオンなど英国トラッドのルーツの香り漂う音楽は、英国トラッド・アルバムとして理想の音楽。1971 年作。Leader)

[CD/U S A {SSW, Folk, Rock} 系]

*JEFF AND TERESA DAVIDSMEYER: Songs From The Cabin A

(Jeff のヴォーカルは Jesse Colin Young や Bill Staines をおっとりしたようなゆるゆるの人なつつこいヴォーカル。そのヴォ

ーカルに Teresa が木漏れ日のように優しくハモる。このゆるい唄と音楽の感触は Floating House Band {こっちは海の波に揺られる心地よさだったが} の音楽っぽい。伴奏楽器は Jeff のギター、マンドリン、ハーモニカに加えて、フィドル、12 弦ギター、ティン・ホイッスル、コンサーティーナ、ベース等。70 年代風の嘘みたい
に心地よい SSW/フォーク・アルバム。2020 作。Deadgoats)

*AD VANDERVEEN:Treasure Keepers A
(Eliza Gilkyson, Iain Matthews と組んだ 2001 年の名盤“More Than A Song”で知られるオランダの SSW の Ad Vanderveen の新作は、ギターの弾き語りアルバム。2020 年 1 月 18 日に他界した米国の SSW の David Olney との共作“David And Goliath”で幕開けする本作は、Ad の唄は限りなく優しく、終始何とも言えない哀愁が漂う得も言われぬ珠玉の SSW アルバムとして結実している。
2020 作。Continental)

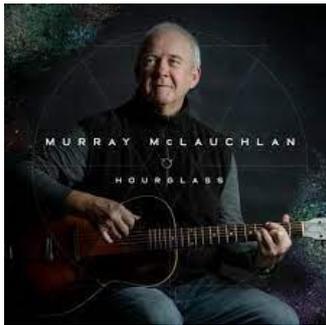
*TERRY ALLEN & THE PANHANDLE MYSTERY BAND
:Just Like Moby Dick ¥1500
(Terry Allen の新作! 長編小説『白鯨』(Moby Dick) のように」と題された本作は、冒険心旺盛で様々な悲喜劇が T. Allen のアクのあるヴォーカルで朗々とうたわれる。やや円やかになった印象はあるものの、Terry のヴォーカルの野趣な覇気は変わっていない。Charlie Sexton, Jo Harvey Allen, Bukka Allen, Richard Bowden, Lloyd Maines 等のバックアップはいぶし銀のテックス
メックス~テキサス・フォークとして味わいが深い。2020 作。Paradise Of Bachelors)

*JEREMY NAIL:Ghost Of Love ¥1500
(テキサスのオールバニーという町出身の SSW のでギタリストの Jeremy Nail の新作で二作目。テキサス出身ということは忘れた方が
良い。Jeremy の唄は白日夢的で一種独特だ。それは“Windmill”や“Paradise”や“Angels Will Fall”等の収録された曲名からもおおよそ感じ取れるが、どこか夢の中にいるような現実感のない
ぼんやりした唄とカラフルなギターをフィーチャーした独特な“Peaceful Feeling”なルーツロック。すべてが緩やかに流れてゆく。2019 作。Coast To Coast)

*HANNAH ROSE PLATT:Letters Under Floorboards ¥1500
(Neil Young や Martha Wainwright の影響を受けたという女性 SSW の Hannah の二枚目。パンチ力あるルーツロック・サウンドでノリ
ノリのヴォーカルで幕開けし、一発でノックアウトさせられる本作だが、Emmylou Harris に似た魅力的な声とストーリーをじっくりとうたう力は並はずれて素晴らしく、ルーツロックな音作りも
基本は Hannah のギターの弾き語りをベースにしたもので、ルーツロックの質が高い。ゲスト:Sid Griffin。2019 作。Continental)

*CAROLINE HERRING:Verses ¥1500
(テキサスはオースティンを拠点に活動するヴェテラン女性 SSW でフォーク・シンガーの Caroline Herring の八枚目。古典的な聖
歌やゴスペルの詩歌に影響を受けたという Caroline の唄には春の草花や春の日射しのようなフレッシュな輝きがあり、ギターやピアノなどの演奏も同様な輝きがある。唄は Allison Krauss の自
宅スタジオで三日間で収録したそう。小鳥の囀りが音楽と共に聞こえてきそうな音楽の空気感。2019 作。Continental)

[CD/CANADA]



(Murray McLauchlan)

*MURRAY McLAUCHLAN: Hourglass

B

(Murray McLauchlan も老いの境地の唄をうたうようになったかと、終始美しく流れるスティール・ギターが穏やかな空気感を創り出し、ベースもドラムスも必要最小限の予定調和的な音を響かせるなか、Murray は居心地の良い場所にでもいるかのように穏やかな口調でうたう。加えて Murray 本人のギターは、ギターを爪弾き始めた頃のようなシンプルな美しさを終始キープ。年老いて到達した純粋な唄の世界という印象を持つが、本作“Hourglass” [砂時計] は実は現代社会の社会問題 [パンデミックや難民や富と権力の不平等] をうたったもので、耳元で語りかけるようにうたう Murray の唄は心に深く響く。ある意味枯淡の境地的でありかつ、初心回帰的。「憎しみが見つかる場所なら、どこでも愛が勝つことを願っています」のメッセージ。唄の根底あるのは Humanity なのだろう。Folk Singer の原点。2021 作。True North)

*MURRAY McLAUCHLAN: The Songbook... New Arrivals ¥1000

(M. McLauchlan の本作は“Eddie”というミュージカルの為に Murray が作詞作曲した唄 14 曲。ノスタルジック・ムードの Murray の唄が心地よい。2006 作。EMI。検品してお送りします)

*HIDDEN AGENDA DELUXE & OH SUSANNA

: Angels In The Snow

¥1000

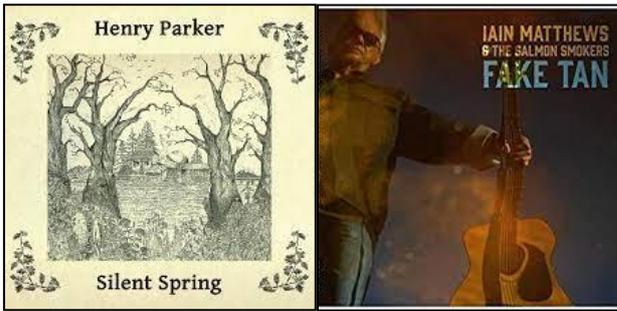
(オランダのヴェテラン・アメリカン・ロック・バンドの Hidden Agenda Deluxe がカナダの女性 SSW の Oh Susanna をメンバーに招いて制作したクリスマス・アルバム。The Band の“Island”収録の“Xmas Must Be Tonight”で The Band 風いぶし銀ロックで幕開けする 5 本作は、いぶし銀アメリカン・ロックから SSW 風そして Oh Susanna のヴォーカルをフィーチャーした女性 SSW 風と聴かせ所色。2018 作。Continental)

*CAROL BRUCE: When I Grow Up

A

(全く記憶に残っていなかったカナダの女性 SSW の Carol Bruce の 1996 年のアルバム。ちょっとマジカルな響きのアコースティック・ギターの弾き語り [“Parade”という曲のギターの響きは Nick Drake っぽい] を中心にした SSW アルバムで、感受性豊かな Carol の唄は初期 Joni Mitchell のイメージと重なる。異なるのは Carol はカナダの自然や大地との一体感が感じられること。100 パーセント、イメージとしてのカナダの女性 SSW らしいアルバム。夢見る気分。1996 作。Carol Bruce。検品してお送りします)

[CD/UK, IRELAND]



(Henry Parker)

(Iain Matthews)

- *HENRY PARKER: Silent Spring B
 (60年代後半から70年代の、特に Bert Jansch ファンなどブリティッシュ・フォーク・ファンは金縛りに合うブリティッシュ・フォークの名盤。事実 Bert Jansch の音楽に触発されたという彼のヴォーカルとアコースティック&エレキギターは、すっかりブルース、フォーク、ジャズをミックスし独自に磨き上げた Bert Jansch の音楽的世界を創出し、自伝的な自作曲も同化していて、ブリティッシュ・フォーク・アルバムとして傑出している。アルバム・コンセプトのブレのなさが、彼の音楽の質を高めてもいる。こんなアルバムが70年代に発売されていたら大騒ぎだ。全10曲中8曲が自作曲で2曲はトラッド曲["Willie O Winsbury"と "Sylvie"]。w. Augustin Bousfield {ダブルベース}, Brendan Bache {ドラムキット}, Theo Travis {フルート}, David Crickmore {モリスドラム}。2019作。Henry Parker)
- *IAIN MATTHEWS & THE SALMON SMOKERS: Fake Tan A
 (Iain Matthews の新作はノルウェーの四人組バンド "Salmon Smokers" をバックに従え、ノルウェーで録音したもの。同年リリースの Matthews Southern Comfort の新作が阿吽のコーラスと阿吽のロックで圧倒されたが、本作は旅先で意気投合したロック・バンドと試しに一緒にやってみようかってな感じで生まれたような荒削りだが新鮮なロック。そのロックはトラッド色が希薄だった最初期の Fairport のような空気感を醸し出していて、Iain はそんな雰囲気を楽しんでいるかのよう。どんな音作りであろうと、やはり聴き親しんだ "Same Old Man" や "Woodstock" や "If You Saw Thro' My Eyes" やを Iain がうたうと、聴き惚れてしまう。とりわけバンジョーの伴奏入りでうたう "Keep On Sailing" は、彼の音楽人生と重なって、心に響く。2020作。Talking Elephant)
- *RORY BUTLER: Window Shopping B
 (スコットランドから素晴らしい若者 SSW がデビューした。聴きながら思い浮かべたのは、内面的に自由な音楽は John Martyn, Nick Drake。今を生きる若者 SSW の音楽と暗鬱とした中で浮遊するような深みのある70年代 SSW の音楽とは安易に較べられはしないが、彼らが創り出した英国フォークの伝統を栄養分にして、ギターを爪弾き自由自在に自分の唄をうたう。彼の軽やかな唄とギターの多彩さが実に心地よい。w. Matt Ingram {ドラムス}, Tom Mason {ベース}, Euan Burton {ベース}, Nick Pini {ダブルベース}。2020作。Vertical)
- *NED ROBERTS: Dream Sweetheart A
 (前作 "Outside My Mind" から三年。1970年代の陰りの感じられる

あの時代の英国 SSW っぽいヴォーカルとサウンドに舌鼓を打った前作同様本作も変わらない「ヒューマン・ソング」に舌鼓。プロデューサーも前作と同じ Luther Russell で録音もロス。Ned のギターの弾き語りベースだが、ほどよくロックもして、Ned の唄の内向きで心優しい唄と音楽は、1970 年代風のブリティッシュ・フォーク～ロックの良き香りをほのかに立てていて、胸キュン！(2020 作。Aveline)

*DEBORAH ROSE: The Shining Pathway A
(南ウエールズ出身の女性 SSW の Deborah Rose の新作。新鮮な響きのアコースティック・ギターを中心にピアノやヴァイオリンの伴奏を伴って聞こえてくる Deborah の唄は何かを祈るかのように穏やかで、時空を超えた深い味わいがある。彼女のヴォーカルは美しく澄んだヴォーカルの時もあるれば、霧がかかったようなスモーキーなヴォーカルの時もあるが、唄の清らかさと悠々さで一貫している。2020 作。Deborah Rose)

*LOUISE CONNELL: Squall Echo Tale A
(スコットランドの女性 SSW の Louise の本作は、これまでにリリースした三枚のシングルを一枚のアルバムにまとめた 18 曲収録のファースト・アルバム。細やかな神経の行き届いたシンプルでエレガントな美しい音楽と感受性豊かで細やかなニュアンスに富む印象的なヴォーカルは耳に新鮮。ヒドゥン・トラックに可愛らしい曲が隠されている。2019 作。9th Story)

*RACHEL SERMANI: So It Turns A
(スコットランドの女性 SSW の Rachel Sermanni の三枚目。スコットランドから離れて、ベルリンの Jazzanova スタジオでライブ録音された本作は、Rachel のささやくような不思議感のあるヴォーカルは自身のキラキラ感のあるギターなどを伴って、じわりじわりと川のせせらぎ感や森の木漏れ日感が感じられる彼女独特なアンニュイな世界へと誘う。有機的なナチュラル感があって、Rachel の唄と空気のように一体化している。Rachel Sermanni のサイン入り。2019 作。Rachel Sermanni)

*ODETTE MICHELL: The Wildest Rose A
(Megson の Stu Hanna のプロデュースによる本作は、ほのかに英国トラッドの香りのする爽やかで、愁いのあるブリティッシュ・フォーク。プロデューサーの Stu に加えて、Phil Beer や Cara Dillon のツアー・メンバーの Toby Shaer のお二人が心から付き添って、野のバラのように美しい Odette の着飾らない唄を優しく引き立てている。2019 作。Odette Mitchell)

*PAUL STEPHENSON: Mother Nature's Rules A
(ハイブリッド SACD。英国人の SSW の Paul Stephenson の 2018 年作。Paul の唄は James Taylor が英国のカントリーサイドで悠々自適の生活を送り、良き隣人達と人生を楽しむかのような穏やかで心和む唄。そんな唄も魅力的だが、彼が奏でるアコースティック・ギターのマジカルな響きも凄く魅力的。2018 作。Stockfish)

*REG MEUROSS: Reg Meuross A
(ハイブリッド SACD。もう何枚もソロ・アルバムを発表していて、ヒューマニティーある彼の唄はフォークフェスなどで人気の SSW という。Reg Meuross の 2018 年作。初めて聴く Reg の唄は「何て心優しいの！」。メロディはソフトでヴォーカルは深呼吸をするように

落ち着きが深い。ワンランク上に行くアコースティック・サウンドが見事で、夢見心地な Reg の唄を本当に夢見心地にしている。2018 作。Stockfish)

- *MIKE SILVER:How Many Rivers ¥1500
(英国の叙情派 SSW と言えば Ralph McTell に Johnny Coppin そして Mike Silver。Mike の英国的叙情性豊かな唄は最高潮。w. J. Coppin, R. McTell, Jo Partridge, Martyn Wyndham-Read, Phil Beer, Julie Silver, Roger Nichols, Mick Dolan, etc. 2008 作。Faymus)
- *HUW M:Gathering Dusk ¥1500
(70 年代の夢想的 SSW のような魅力的な SSW アルバム。朝日の中で、夕日の中で、その心地よい時間の流れを楽しむかのような穏やかで美しい唄の数々。自身が爪弾くギターをはじめ、アコースティックなサウンドも彼の唄の色に彩られている。Bethan Reynolds とのハーモニーと共に夢の世界へ。2011 年。Gwymon)
- *CATHERINE HOWE:Because It Would Be Beautiful ¥1500
(かつて 1970 年代、ブリティッシュ・フォーク界の歌姫だった Catherine Howe の 2015 作。Talking Elephant)
- *PETER KIRTLEY:Peter Kirtley ¥1000
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年のソロ。w. Bert Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. ブルースやジャズの要素もあるフォーク・ロック。1992 作。Hypertension)

[CD/ENGLAND]



(Fairport CD with book)

(Spiers & Boden)

- *FAIRPORT CONVENTION:Off The Desk 2020 ¥3290
("Not The 2021 Winter Tour #Lockdown2021"と題された小冊子付き限定発売 CD。CD はロックダウンが始まる前に Fairport が最後にライブを行った 2020 年の 2 月とその前の年の 2 月に行ったコンサート・ライブ音源からの全 17 曲。メンバーは S. Nicol, D. Pegg, R. Sanders, C. Leslie, G. Conway。これが「今がピーク！」と感じるほど C. Leslie も S. Nicol もそれぞれにヴォーカルが充実している上に、バンドとして軽やかさ、安定感、重厚さなど全てが充実していてメッチャ素晴らしい。各メンバーの個性も Fairport サウンドの中で、生き生きと花開いている。その生き生きさが楽しい。音楽の「老化」など微塵もない。P23 の小冊子 {A4 判、オールカラー} はコロナ禍で過ごす各バンドメンバーの生活の様子など個人的なメッセージが画像とともに掲載されている。また小冊子には QR コードが多数掲載されていて、小冊子所有者は Fairport の HP にアクセスして、彼らのビデオや Winter Tour に関連したものなどを見ることが出来るらしい。済みませんスマホを持っていません。小冊子の裏表紙には 2021 年 10 月から 2022 年春までのツアー・スケ

ジュールが載っている。いつまでも元気で！2021 作。

Matty Grooves)

- *SPIERS & BODEN:Fallow Ground A
(コロナ禍だから実現した John Spiers & Jon Boden のコンビ復活の新譜。幾多の波を乗り越えてきた二人の英国トラッドの大きさ、たくましさ、自由奔放さは並み外れ。Spiers のメロディオン、コンサーティーナも Boden のフィドルもダンスブルで英国トラッドの稔りのサウンドを奏で、音楽もそうだが、Boden のシンギングはうたう悦びに満ちている。二人の初心&ルーツ回帰的音楽志向だが、二人のかつてどのデュオ・アルバムよりも歌心と音楽のスケールで抜きん出ている。もう滅茶苦茶素晴らしい。男性シンガーを有するアルバムで、本作を超える英国トラッド・アルバムはちょっと見当たらない。Produced by Andy Bell。2021 作。Hudson)
- *ELIZA CARTHY:The Eliza Carthy Demos A
(副題“The Waterson・Carthy Family Archive”。Eliza が Martin & Norma の両親と組んだ“Waterson・Carthy”による 2001 年のデモ音源からの 10 曲と Eliza の 2011 年のアルバム“Neptune”のデモ音源から 5 曲の計 15 曲収録の編集 CD。2020 作。Hem)
- *ELIZA CARTHY & BEN SEAL:Through That Sound A
(Eliza Carthy の本作は Ben Seal なる音楽家とのコラボで 10 曲中 9 曲が二人の共作。奇抜なヘアスタイル、奇抜な化粧をした Eliza がうたう世界は、かつてあったキャバレーやジャズクラブのような退廃的なムード漂う世界。Ben によって組まれた弦楽四重奏バンドによるジャジーな音楽は、幻想的で挑戦的で挑発的。2020 作。Hem Hem)
- *CHRIS LESLIE:Fiddle Back A
(Fairport Convention のヴォーカル&フィドルの Chris Leslie のソロ・アルバム。フィドルとヴォーカルが中心のソロだが、使用楽器はフィドルを含めて 13 台。収録曲 13 トラックの内 7 トラックがトラッド曲で 6 トラックが自作曲。イマジネーション豊かな素晴らしい音楽だ。2020 年作。Paws)
- *CHRIS LESLIE WITH BERYL MARRIOTT:The Gift B
(1994 作。Beautiful Jo)
- *THE WORKING PARTY:Live At The Mill ¥1000
(Chris Leslie, Maartin Allcock, Simon Mayor, Chris Perkinson, Troy Donockley のスーパー・グループ。2006 作。Working Party)
- *DAVID HUGHES & CHRIS LESLIE:Acoustic Christmas ¥1400
(英国の SSW の D. Huges と Fairport のシンガーの C. Leslie の夢の共演盤。ギターとマンダリンの伴奏による耳と心に新鮮なクリスマス・ソング集。全 6 曲の 24 分。簡易紙ジャケット仕様。1998 作。Folk Corporation)
- *ROSIE CARSON & KEVIN DEMPSEY:Nightbirds ¥1500
(Dando Shaft, Whippersnapper のギター奏者でシンガーの Kevin Dempsey とアイリッシュ系フォーク・シンガーでフィドル奏者の世代違いの男女のデュオ。Kevin は Rosie という美しい花を得て、Kevin の英国フォークの美学を深めた独自の英国フォークを開花させていて、もううっとり。小春日和な日にのほほんとしていたくなる。トラッド曲と自作等の SSW 系の曲が半々。2016 作。

Haystack)

- *SANDRA KERR:Rebels With Her Chords A
(自身のコンサーティーナの弾き語りに娘の Nancy Kerr がハーモニで加わった自作曲“Young Girl Upon The Road”で始まるヴェテラン・フォーク・シンガーの Sandra Kerr の本作は、イングランド北東部の伝統音楽をベースにした Sandra 流に消化されたトラッド・スタイルで、トラッド曲や自作曲を N.Kerr & James Fagan 夫妻と一緒にホームメイド感覚で演唱する。2019 作。Sandra Kerr)
- *THOM ASHWORTH:Head Canon ¥1500
(Folk Radio は「現代の Martin Carthy」と絶賛するイングランドの若きトラッド・シンガーの Thom Ashworth の比類なき新作。毅然としたシンギングが素晴らしいトラッドの名曲“High Germany”で幕開けする本作は、Thom の揺るぎないシンギング、それも荒野に立ち、遙か彼方に向かってシンギングするかのような見事なシンギングに骨抜きにされる。渋いフィドルの伴奏であろうが、無伴奏であろうが、またフォークロック調であろうが縦横無尽。2019 作。Thom Ashworth)
- *ANGE HARDY:Bring Back Home ¥1500
(音楽、ブックレット、イラストなど全て幻術品で芸術品の夢物語フォーク・シンガーの Ange の 2017 年作。自作曲 12 曲と伝統歌二曲の計 14 曲を収録した本作は、ケルト音楽風優美さと英国トラッド風優美さが感じられる不思議な夢物語の唄のアルバム。2017 作。Story)
- *ANGE HARDY:Esteese ¥1500
(英国のロマン派の詩人サミュエル・テイラー・コールリッジ {1772 年-1834 年} の詩にインスピレーションを得て創作されたアルバム。ブリティッシュ・トラッド/フォークの真の優美さを表出。独自のイングランド版的夢想浪漫世界を創出していて素晴らしい。w. Steve Knightley, Patsy Reid 他。P28 のブックレット付。2015 作。Story)
- *RUTH NOTMAN & SAM KELLY:Changeable Heart ¥1500
(Ruth Notman の三枚目はアイルランド系英国人シンガーでマルチ楽器奏者の Sam Kelly とのデュオ・アルバム。仕掛け人は Kate Rusby のご主人で、本作のプロデューサーの Damien O' Kane。本作は Ruth の 2007 年のデビュー作“Thread”と通じる音楽性を保持していて、“Thread”の延長線上の素朴だが極上の男女のデュエット版として結実している。2019 作。Pure)
- *JACKIE OATES & JOHN SPIERS:Needle Pin, Needle Pin B
(Jackie Oates の本作は Spiers & Boden, Bellowhead の John Spiers との共演盤。本作はイングランドのトラッドの豊かさと底力を普段着の演唱で実演した名盤。自家製見開き紙ジャケットの限定盤。CD-R。2020 作。Jackie Oates & John Spiers)

[CD/SCOTLAND系]



(K. Polwart & D. Milligan) (Mairi MacMillan) (Karen Matheson)

*KARINE POLWART & DAVE MILLIGAN: Still As Your Sleeping A
 (Karine Polwart の新作はジャズ・ピアニストとして知られる Dave Milligan とのコラボ。伴奏はピアノのみ。これがメチャ素晴らしい。Dave のピアノは Karine のフォークへの音楽的理解が深く、音楽形式を超えて親密さを演出する見事さで、トラッド ["Craigie Hill", "The Parting Glass", "Ae Fond Kiss"] や Sandy Denny などの名唱で知られる "The Quiet Joys Of Brotherhood" や Kate McGarrigle や Alasdair Roberts などのフォーク系 SSW のナンバーを静かにうたう Karine の唄を輝くものになっている。唄と伴奏の阿吽の呼吸から紡ぎ出される音楽は、デジタル音楽とは対極的なホームメイドなぬくもり感があって、一曲一曲がシンプルにして珠玉。コロナ禍だからこそ生まれた穏やかで心和む名盤。"Thoroughly warm-hearted and beautifully life-affirming. A genuinely gorgeous and magical duet" とは Folk Radio。2021 作。Hudson)

*MAIRI MACMILLAN: Gu Deas B

(数ある女性スコットランド・ゲール語のトラッド・アルバムの中でも珠玉のアルバム。アウター・ヘブリディーズ諸島の南ウエスト島出身{アルバム・タイトル "Gu Deas" は、スコットランドゲール語で地理的に「南部」を、芸術的には「達成」を意味する言葉}の Mairi の本作は有名・無名関係なく彼女が好きなウエスト島のフォーク・ソングを中心にしたゲール語シンギング・アルバムで、Ali Hutton{ギター、ホイッスル、バグパイプ}, Megan Henderson{フィドル}, Rachel Newton{ハープ}による控えめで錬磨されたスコティッシュ・トラッド・サウンドを伴った Mairi の穏やかでしなやかなシンギングは、スコットランドの伝統の香り豊かな極上の味わい。非の打ち所なし。ゲール語歌詞及び解説・英訳歌詞及び解説付。胸キュン必至。2021 作。Mairi MacMillan)

*KAREN MATHESON: Still Time B

(Capercaillie の Karen Matheson の待望の新作は Robert Burns 作 2 曲、James Grant 作 4 曲を含み、彼女のアルバムの中では最も「SSW~コンテンポラリー・フォーク」志向で穏やかで滋味豊かなアルバムになっている。コロナ禍で Donal Shaw のプロデュースのもと、Donal Shaw の伴奏を中心にホームレコーディングされた本作で、Karen は歴史的な事件など様々なことに静かに思いを巡らせて心からシンギングしていて、唄の題材はスコットランド中心だが、Karen のシンギングはトラッドを超えて、癒やしの輝き感が感じられるアルバムになっている。Donal Shaw のプロデュースも伴奏も Karen のシンプルで癒やしの輝き感のシンギングに寄り添うような音作りに徹している。コロナ禍だか

らこそ、内面を見つめるような心穏やかで琴線に触れる音楽がシンプルに醸成されている。ゲスト:James Grant, John Doyle, Michael Dirk Powell 他。2021 作。Vertical)

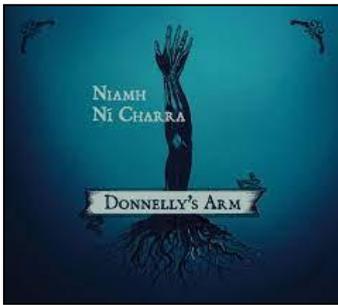
- *JENNY STURGEON: The Living Mountain A
(Northern Flyway, Salt House の Jenny Sturgeon {ヴォーカル、ギター、ピアノ、ハーモニウム、ダルシマー、ホイッスル、シセ、フィールドレコーディング} の新作。プロデュースは Salt House、Fay Hield の "Wracklin" の Andy Bell。アルバム・タイトルは 1940 年代に Nan Shepherd が Jenny が育った Cairngorm について書いた書名で、音楽は彼女の詩に曲を付けた曲や彼女の詩に触発されて、Jenny が作詞作曲した自作曲。Jenny の心は 1940 年代の "The Living Mountain" の世界へとタイムスリップし、スコットランドの風土に根ざして野生的で想像力に富む唄と音楽は高潔無比の優れた SSW の音楽として、かつ英国のフォーク・ミュージックとして傑出している。2020 作。Hudson)
- *NORTHERN FLYWAY: Northern Flyway ¥1500
(Northern Flyway は Salt House の Jenny Sturgeon {ヴォーカル、ハーモニウム、ダルシマー} とシンガーでマルチ楽器演奏家の Inge Thomson {ヴォーカル、アコ、親指ピアノ、フルト、シセ、ウェーブドラム他} の二人が立ち上げた鳥保護音楽プロジェクト。鳥の鳴き声も取り込んだ本作は、同じレーベルから発売された Karine Polwart {Inge Thomson は Karine Polwart Band のメンバー} の自然環境保護への思いを込めた "A Pocket Of Wind Resistance" と通底する夢のように清々しいスコティッシュ・フォーク/トラッド・アルバム。2018 作。Hudson)
- *BRIAN Ó HEADHRA & FIONA MACKENZIE: Tuath ¥1500
(副題 "Songs Of The Northlands"。Anam や Cruinn で共にゲール語によるスコティッシュ・トラッドの創作と普及にケルト音楽シーンの最前線で尽力してきた Brian と Fiona の新作。そのポジティブな姿勢は本作でも不変。本作ではスコットランドのゲール語ソングのみならず、アイルランドのゲール語ソングやガリシア語の唄をゲール語に変えてうたったり、男女のシンガーによるスコティッシュ・トラッドの旨みと魅力を伝統的スタイルできっちりと表現した上で、多彩なリズムを取り入れた先進的サウンドとのコラボにも果敢に挑戦している。そうした音作り云々を超えて、二人の魂のシンギングは心に響く。歌詞英訳付。2020 作。Naxos)
- *ALEXANDER MCCALL SMITH & JAMES ROSS
: These Are The Hands A
(作家のアレグザンダー・マコール・スミスがスコットランドの過去と現在の海にまつわる出来事や話などを綴った詩にピアニストの James Ross がスコットランドのトラッドのスタイルで曲を付け、元 Cherish The Ladies の Michelle Burke とスコットランドのヴェテラン・トラッド・シンガーの Kathleen MacInnes の二人がソロで、あるいはデュエットしたアルバム。w. Patsy Reid, Ryan Young, Liam Bradley, etc. 2019 作。Greentrax)

[LP/SCOTLAND]

- *DICK GAUGHAN: Handful Of Earth A
(名盤中の名盤。1981 年/2009 作。6 Spices)

[CD/IRELAND系]

デジパック・タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。



(Niamh Charra)

- *NIAMH NI CHARRA:Donnelly's Arm B
(コンサーティーナ&フィドルの奏者でトラッド・シンガーの Niamh の通算 4 枚目のソロアルバム。1820 年に 31 歳で亡くなったボクサーの Dan Donnelly の腕は異常に長かったという。そのドネリーの腕をタイトルにした本作は、伝説のボクサーの伝説をテーマにしたアイリッシュ・アルバム。ゲール語による伝統歌一曲以外は自作作曲中心のアイリッシュ・スタイルの音楽と唄で、アイリッシュ・スタイルで一貫している。Niamh のコンサーティーナとフィドルの演奏はアイリッシュ魂が宿って巧みな上に伝説の力が働いてか小気味よく艶やかで表情豊か。そして彼女の凛としたシンギングは音楽全体の質を高めている。素晴らしいのは主人公の演唱のみではない。阿吽の呼吸でサポートする Kevin Corbett のギターが素晴らしい。余談: ドネリーの腕は赤い鉛丹で保存され、サーカスで展示されたり、ベルファストのパブに展示された後、彼の最初の成功した戦いの地であるキルデアに戻ったそうです。2020 作。Niamh Ni Charra)
- *CHRISTY MOORE:Prosperous A
(Christy Moore の 1972 年作の二枚目。本作は Christy Moore が Bill Leader と出逢ったときに考案され、二人が話し合っ集めた共演者が Andy Irvine, Donal Lunny, Liam O' flynn に Kevin Conneff, Clive Collins, Dave Bland で、本作がきっかけで Planxty が誕生したという話は有名。こうして生まれた本作は、Christy Moore の穏やかなシンギングをフィーチャーした Planxty 劇場開幕前のクリーミーでフレッシュな Planxty Music。不滅名盤。1972 年/2020 作。Tara)
- *TWEED & CUTTING:One Roof Under ¥1500
(Kren Tweed と Andy Cutting の 2002 年のアルバム。1994 年のアルバム "Across The Waters" で共演を通して、二人はお互いの音楽から多くのことを学んだという。その結果生まれたのが、このピアノ・アコーディオンとメローディオンのデュオ・アルバム。二人は、アイリッシュを中心にイングランド、北欧の音楽を「この曲知ってる? この曲は? このスウェーデンの曲は?」等とお互いが楽しみ合っ演奏しているのがビンビン伝わってくる。お二人さんが音楽にたっぷり夢を見ていた時代の輝かしい音楽。1990 年代末に Sileas の Patsy Seddon さんに逢ったとき「Karen は Andy Cutting が好きなのよ」と言っていたのを思い出した。ゲスト: Ian Carr。1994 作。Fasco)
- *BIRKIN TREE:Five Seasons ¥1500

(イタリアのアイリッシュ・ミュージック・バンドの Birking Tree の驚きの新作。Mick O'Brien の娘で RTE RnaG フィドル・コンペティションで優勝経験のあるフィドル奏者の Aoife Ní Bhriain がリーダーシップを発揮して演奏して制作されたもので、セッションから生み出されるアイリッシュの何とハイレベルなこと！加えてヴォーカルの Laura Torteirolo 嬢のアイリッシュ・スタイルのシンギングが滅茶苦茶素晴らしい。2019 作。Felmay)

*BIRKIN TREE:Virginia ¥1500

(Martin Hayes & Dennis Cahill がゲスト参加の Birkin Tree の 2010 年のアルバム。2010 作。Felmay)

*MARIE AGUS SEAMUS O BEAGLAOICH

:An Ciarraioch Mallaithe ¥1500

(名盤復刻。Máire & Séamus Begley の兄妹{姉弟?}による 1973 年のアルバム。Máire{ヴォーカル、ギター} & Séamus{ヴォーカル、アコ}のゲーリック・シンギングをフィーチャーしたアルバムで、それぞれのソロ・シンギングとデュエットは、Skara Brae 兄妹くらい初々しく円やか。1973 年/2017 作。Gael Linn)

*MARIE AGUS SEAMUS BEGLEY:Plancstai Bhaile na bPoc ¥1500

(Máire & Séamus Begley の兄妹{姉弟?}による 1989 年のアルバム。Máire & Séamus のデュエットのあるが、大半は Séamus Begley のゲーリック・シンギングとアコーディオンの演奏を中心にした構成で、滋味豊かな Séamus のシンギングとダンスの空気いっぱいのアコの演奏が楽しめる。ゲスト:Steve Cooney。1989 年/2016 作。Gael Linn)

*TONY O'CONNELL:Live And Well ¥1500

(2015 年にフルート奏者の Éamonn O'Riordan と名作"Rooska Hill"を発表した西リムリック出身でコンサーティナーのオール・アイルランド・チャンピオンの Tony O'Connell の初ソロ・アルバム。w. Arty McGlynn{ギター}, Brid Harper{フィドル}, Cyril O'Donoghue{ブズーキ}, Trevor Hutchinson{ダブルベース}。全 13 トラック/29 曲。アイルランドの宝。2017 作。Tony O'Connell)

*FLORIANE BLANCKE:Kaleidoscope ¥1500

(フランス人アイリッシュ・ハープ奏者でシンガーの Floriane Blancke のソロ。Florian の小気味よいハープに Brendan O'Regan のブズーキ、Joanie Madden のホイッスル、Jimmy Higgins のバウロンなどが重なって楽しい自作曲の"Trip To Achill"から始まる本作は、アイリッシュ最前線の音楽家と共演&交流する中で育まれたハープをフィーチャーしたアイリッシュ・セッションな香りと彩りのある音楽と唄。アイリッシュな香りを放ちつつ、フランス人的な優雅さのようなものが常に香っていて素敵。w. Dermot Byrne, Jimmy Higgins, Garry O'Briain, Tim Edey, Trevor Hutchinson, Kevin Griffin, Seamus McGuire, Claire Egan。2017 作。Florian Blancke)

*MARANNA McCLOSKEY:At Last ¥1500

(Cara Dillon 加入前の Oige のシンガーだった Maranna 嬢の貴重ソロ。Maranna は Cara Dillon 風の透明感ある唄声で、トラッド志向の大型女性アイリッシュ・シンガー。w. Eric Rigler{イアン・パイプス、ホイッスル}, Brian Baynes{ギター、ピアノ、マンドリン他}, etc. 2008 作。McCloskey Music。検品をしてお送りします)

[CD/USA {トラッド、オールドタイム他}]

- *SALLY ANNE MORGAN: Thread A
(米国の伝統音楽グループの Black Twig Pickers や女性デュオ
"House And Land"で活動するトラッド・シンガーでフィドル奏
者の Sally Anne Morgan のソロ。これほどセンスの良いアパラチ
ア民謡風トラッド・アルバムは聴いたことがない。Shirley
Collins のヴァージョンというトラッドの名曲"Polly On The
Shore"で幕開けする本作は、Sally のフィドルとアコースティッ
ク&エレキギター、バンジューの弾き語りを中心にしたいたっ
てシンプルな音作りで、Sally のクリアーで和むシンギングとア
パラチア民謡風の土臭いサウンドと Sally の和むシンギングを
包む牧歌的で浮遊感のあるサウンドは、米国産フォーク/トラ
ッド・アルバムとして独創性があって大いに新鮮。2020 作。Thrill
Jockey)
- *HOUSE AND HAND: House And Hand A
(Sally Anne Morgan {ヴァーナル、フィドル、バンジュー} と Sarah Louise {ヴァ
ーナル、12 弦ギター、ブズーキ} の女性アパラチアン・トラッド・デュオ
"House And Hand"の一枚目。二人のシンギングも二人が奏でる
音楽もどっぴりとアパラチア民謡の世界。こだわりの選曲もそ
うだが、聴けば二人の研究熱心さと米国伝統音楽への没入ぶり
がつぶさにわかる。二人の心はかつてアパラチア山脈でうたい
継がれていた民謡の世界にタイムスリップしている。英国トラ
ッドで知られる"Faise True Lover"はよりオリジナル目線で、
"Unquiet Grave"はアパラチア民謡目線で昇華している。ジャケ
ットを開けば、アパラチア山中。2017 作。Thrill Jockey)
- *SONGS OF CHRISTMAS FROM THE ALAN LOMAX
COLLECTIONS ¥1500
(Alan Lomax が英国、アイルランド、イタリア、スペイン、米国南部、
カリブ海地域で収録したクリスマス音楽と宗教音楽。Bob&Ron
Cooper, Ewan MacColl, Seamus Ennis, Sacred Harp Singers,
Georgia Sea Island Singers 他による 31 曲。全在庫品ラップ包装
なし。1998 作。Rounder)

[CD/LAPLAND]

- *ASSU: Assu A
(Ássu はサーミの伝統的なヨイク・シンガーの Ulla Pirttijärvi
のシンギングをフィーチャーした三人組。Ulla がうたうヨイク
の濃さは、並外れている。霊的というか節回しには聖と俗が混ざ
り合って至芸の域。彼女のヨイクにインスパイヤーされて共演
者になったという各種ギターの Olav Torget と各種打楽器の
Harald Skullerud の演奏は、演奏技術と感性をフルに発揮して
独自のヨイクの音楽へと深化させ、類い稀なヨイク音楽へとレ
ベルアップしている。2019 作。Bafe's Factory/Nordic Notes)

[CD/LITHUANIA]

- *UNDAN: Vidury Mareliu B
(リトアニアの一姫二太郎の三人組トラッド・グループの Udan の
デビュー・アルバム。アフリカの民族楽器の親指ピアノ"ムビラ"
の演奏家でシンガーの Judita Butkevičiūtė の聖と俗とを持ち
合わせたシンギングの何と魅惑的なこと！夢幻感や悠久感が

あって、ユーロ・トラッドとして個性的で音楽の深みが深い。リトアニアの古謡の世界にタイムスリップ。2018 作。Dangus)

[CD/F R A N C E]

- *PICCARD & MASURE:Webbesnaren 2.0 A
(Orion, Laïs, Ambrozijn, Comas, Helen Flaherty Band のギター & ヴォーカルで活躍してきた Philip Masure {ギター、サクソ、バウロン、ダブルバウカ、ヴォーカル} とマウンテン・ダルシマー系民族楽器“ホメル”の演奏家の Guido Piccard {ホルン、サクソ、ギター、バリトン・ウクレレ} のデュオ・アルバム。ギター音楽ファンならずとも、二人の職人芸的演奏とユーロ・トラッド的美的センス溢れる音楽に心奪われること必至。ゲスト:Soetkin Collier, David Munnelly, Sylvain Barou。2020 作。Appel)
- *YANN-FANCH KEMENER:Rouennou/Traces C
(昨年の三月に 61 歳の若さで亡くなった。本作は膵臓癌との戦いと平行して制作された Yann の二枚組の遺作。本作は彼のどのアルバムをも超える素晴らしさ。彼の素晴らしいソロ・シンギングのみならず、ギターを中心にアコやハーブの伴奏そして男女のシンガーとのデュエットなど、豊かなリズム感と絶妙のコンビネーションそして総合的にブルターニュ調に彩り感を感じさせる音楽の素晴らしさは、言葉では言い尽くせない。2019 作。Buda)
- *GLENMOR:Dix Ans Deja A
(ブルターニュ文化や自然環境保護に尽力し、世代を超えて多くの音楽家に影響を与えた国民的シンガーの Glenmor の 2007 年作。彼の落ち着いたの深い味わいのある唄の内に怒りや憧憬等の様々の情感が熱く感じられ、強さと優しさを併せ持った素晴らしい唄を朗々と聴かせる。2007 作。Coop Breizh。検品してお送りします)

[CD/B U L G A R I A]



(Eva Quartet)

- *EVA QUARTET:Minka A
(ブルガリア国立放送合唱団 [Le Mystère Des Voix Bulgares] 出身者たちによって 1995 年に結成された女性四人ヴォーカル・グループ“Eva Quartet”の 9 年振りの新作。坂本龍一やロバート・フリップやジャズ・ギタリストのビル・フリゼールなどが参加した前作“The Arch”は、ブルガリアン・ヴォイス～ポリフォニー・ヴォーカルのアヴァンギャルド的アプローチによる意欲作で注目を浴びたが、本作は一転、原点回帰というか四人編成ブルガリアン・ヴォイスの本領をいかんなく発揮していてゾクゾクさせら

れる。ブルガリアン・ヴォイス・シーン最前線で活躍してきた彼女達の民謡の魂が脈打つブルガリアン・ヴォイスのオンパレードにブルガリアン・ヴォイスを初めて聴いた頃の衝撃が甦った。

2021 作。Riverboat)

- *BELONOGA:Through The Eyes Of The Earth A
(ブルガリア国立放送合唱団出身の Gergana Dimitrova-Belonoga のソロ。ブルガリア屈指のカヴァル奏者の Kostadin Genchev や Philip Koutev Ensemble のガドゥルカ奏者の Peter Milanov や ジャズ・トランペッターの Rossen Zahariev-Roko を加えたバンドの音楽は、ブルガリアの民族音楽の土俗的なサウンドを果敢に表現していて圧巻だし、Belonoga のブルガリアン・ヴォイス的に磨き抜かれたヴォーカルはマジカルで絶品。2019 作。CPL-Music)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
※ここより価格表示のない商品は各 500 円。長期間在庫品のため自然劣化商品も有り。検品してお送りします。
☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

[VIDEO]

(VIDEO/Stefan Grossman's Guitar Workshop)

日本の VHS 方式でご覧になれます。

- *STEFAN GROSSMAN:Fingerpicking Guitar Techniques
(1991 作)
*DUCK BAKER:Guitar Aerobics
(1992 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*EL McMEEN:Sacred Music For Fingerstyle Guitar
(1993 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*WOODY MANN:Fingerstyle Blues Guitar
(1993 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos
(1993 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*DAVE VAN RONK:Folk, Blues & Ragtime
(1993 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*PIERRE BENSUSAN:Guitar Of Pierre Bensusan Volume 1
(1995 作。添付資料のホッチキスがサビています)
*TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar
(2000 作。添付資料のホッチキスがサビています)

(VIDEO/USA) 日本の VHS 方式でご覧になれます。

- *ALLMAN BROTHERS BAND:Live At Great Woods
(Gregg Allman, Dickey Betts ほかによる Allman Brothers Band の 1991 年のライブ。11 曲。90 分。1992 作。Sony)
*BUFFALO SPRINGFIELD(REVISITED):In Concert
(Bruce Palmer, Dewey Martin 等が呼びかけ結成された Buffalo Springfield のライブ。50 分。2000 作。Woodhaven)
*STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos
(1993 作。Stefan Grossman Guitar Workshop)

(VIDEO/Ireland) 日本の VHS 方式でご覧になれます。

- *MICHU RUSSELL:Ireland's Whistling Ambassador ¥3980

- (1993 作。Mal Bay)
- *JOHN WILLIAMS:Learn To Play Irish Accordion ¥1000
(1995 作。Homespun Video)
- *RIVERDANCE A JOURNEY(1996 作。Tyron)
- *RIVERDANCE:Live From The New York City ¥1000
(1996 作。Tyron)
- *LORD OF THE DANCE(1996 作。Polydor) ¥1000
- *THE MAGIC OF IRELAND(2001 作。Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 2(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 3(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 4(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 5(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 6(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 7(Ossian)
- *THE MAGIC OF THE IRISH SET DANCING VOL. 8(Ossian)
- *ALL-IRELAND CEILI BAND CHAMPIONS "Reunion Concert" ¥300
(輸送中の事故で表紙に若干のシミがあります。2001 作。CCE)

[DVD]

(DVD/Canada) NTSC all regions

- *ASHLEY MacISAAC:Live At The Rehearsal Hall ¥1000
(2002 作。Linus)

(DVD/UK) NTSC all regions

- *ACCOMPANYING DAVE SWARBRICK(Gonzo Multimedia) ¥1000
- *ALBERT LEE & HOGAN'S HEROES
:Live At Stazione Bibra(Scadge Productions) ¥1000
- *JOE COCKER:In Concert ¥1000
("Live In Italy 1981"。ACE1157D)

(DVD/Ireland) NTSC all regions

- *OUT OF IRELAND B
("The Story Of Irish Emigration To America"。1997 作。Shanachie)

(DVD/Ireland) PAL all regions

- ※PAL 専用 DVD プレーヤーで再生可能
- *CHRISTY MOORE:Uncovered(2001 作。RTE)
- *PAUL BRADY:Songbook(2002 作。Pee Bee) ¥1500

[CD]

(CD/USA)

- *RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND
:Still On Our Feet
(1971 年作の再発盤。春を迎えた鳥達のように潑刺として爽快。
全 12 曲。スリムケースの CD-R。サイン入り。Wildcat)
- *RANDY BURNES:I'm A Lover, Not A Fool
("Skydog Band"をバックにした R. Burns の 1972 年作の再発盤。
全 11 曲。スリムケースの CD-R。サイン入り。Wildcat)
- *RANDY BURNS:Live At Jocko's B
(1976 年のギター弾き語りライブ。全 17 曲。スリムケースの CD-R。)

- サイン入り。1976年/2011作。WildCat)
- *RANDY BURNS:The Exit & Gaslight Years 1965-1969
(1968年作“Evening Of The Magician”から7曲、1970年作の“Song For An Uncertain Lady”から5曲と未発表音源から1曲の計13曲収録編集盤。スリムケースのCD-R。自主制作)
 - *RANDY BURNS:The Simple Things
(昔のままの瑞々しい2008年作。CD-R。自主制作盤)
 - *ALAN GERBER:The Boogie Man(1999作。Mugwamp)
 - *ARTHUR DODGE AND THE HORSEFEATHERS:Nervous Habit
(2000作。Blue Rose)
 - *ANDREW CALHOUN:Living Room(2013作。Waterbug)
 - *US RAILS:Heartbreak Superstar (2013作。Blue Rose)
 - *I SEE HAWKS IN L. A.:Mystery Drug(2013作。Blue Rose)
 - *STANLEY GREENTHAL:Turning Towards You
(1997作。Madrona Ring)
 - *LONG GONE “Utah Remembers Bruce “Utah” Phillips
(2011作。Waterbug)
 - *MICKEY NEWBURY:Nights When I Am Sane
(1994作。Winter Harvest)
 - *LEE CLAYTON:Spirit Of The Twilight(1994作。Provogue)
 - *BUTCH HANCOCK ・ JIMMIE DALE GILMORE
:Two Roads(1990作。Virgin)
 - *MARK STUART:Songs From A Corner Stage(1999作。Gearle)
 - *STANCEY EARLE:Is It Enough(2000作。Gearle)
 - *PIERCE PETTIS:Father’s Son(2018作。Compass)
 - *PETE NELSON:The Restless Boy’s Club
 - *THE GUY FORSYTH BAND:Needle Gun Needle Gun
(1995作。Antones)
 - *ARTHUR DODGE AND THE HORSEFEATHERS:Nervous Habit
(2000作。Blue Rose)
 - *PROFESSOR LOUIE AND THE CROWMATIX
:Wings On Fire(Woodstock)
 - *ARLO GUTHRIE:Alice’s Restaurant(1996作。Rising Son)
 - *ELLIOTT JAMES MURPHY:Change Will Come
(+2 extra Tracks。1988作。New Rose)
 - *ELLIOTT MURPHY:Apres Le Deluge
(+2 extra Tracks。1987作。New Rose)
 - *FRED JAMES & MARY-ANN BRANDON:We Belong Together
(2010作。Yellow Label)
 - *ROBBIE FULKS:Let’s Kill Saturday Night(1998作。Geffen)
 - *BILL CAMPLIN:Flying Home(1994作。Baby Music Boom)
 - *TONY JOE WHITE:One Hot July(2000作。Hip-O)
 - *HANS THESSINK:Journey ON
(オランダの南部系SSW&ギタリスト。1997作。MW)
 - *WILLIAM PINT FELICIA DALE:Blue Divide
(2013作。Waterbug)
 - *SECONDS FLAT:Seconds Flat(1997作。Green Linnet)
 - *WENDY BECKERMAN:Mango Moon(1996作。Brambus)
 - *DAVE ALVIN:Blackjack David(1998作。Hightone)
 - *HARVEY REID:Blues & Branches(2009作。Woodpecker)

- *KRISTA DETOR:Chocolate Paper Suites(2010 作。CoraZong)
- *JOE WALKER:Soulful Side Of Zydeco(1991 作。Zane)
- *PHIL COHEN & PATRICIA FORD:Caution To The Wind
(2000 作。Hard Miles Music)
- *CHERALEE DILLON:Citron(1995 作。Glitterhouse)
- *RANDY BLACK:A Man Carrying A Bag(1992 作。Limborations)
- *GORDON BOK:Other Eyes
(開封視聴。シール式封でシール痕が残っています。2010 作。
Timberhead)
- *KENNY LOGGINS:Return To Pooh Corner(1994 作。Sony) ¥1000
- *CASEY KELLY:Casey Kelly ¥1000
(CD-R。1972 年/2007 作。It's About Music.Com)
- *LARRY JOHN MCNALLY:Vibrolux(1995 作。Dig It) ¥1000
- *CRAIG NUTTYCOMBE:Planetorial Junitor ¥1000
(1997 作。Dog Breath Music)
- *ROY ROGERS & NORTON BUFFALO:Travellin' Tracks ¥1000
(1992 作。Blind Pig)
- *THE ORIGINAL HARMONY RIDGE CREEK RIPPERS
:Pacific Coast Rambler(1998 作。レーベルなし) ¥1000
- *BRAVE COMBO:No, No, No, Cha Cha Cha(1993 作。Rounder) ¥1000
- *BRAVE COMBO:Group Dance Epidemic ¥1000
(カット盤。1997 作。Rounder)
- *CAJUN CAPERS "Cajun Music 1928 - 1954" ¥1500
(4 枚組。Proper)
- *JERRY JEFF WALKER:Cowboy Boots & Bathin' Suits A
(1997 作。Tried & True Music)
- *DAVID MUNYON:Down To The Wire(1997 作。Glitterhouse) B
- *JACK HARDY:Noir(2007 作。Great Divide) A
- *TOWNES VAN ZANDT:In The Beginning(2003 作。Compadre) A
- *LIVINGSTON TAYLOR:Snapshot B
(1998 のライヴ。全 19 曲。Whistling Dog Music)
- *PETE KENNEDY:Channel 3(1992 作。Third Floor) B
- *TOM PAYNE:Lucky Pennies(Waterbug) ¥1000
- *GRATEFUL DEAD:Wake Of The Flood A
(Grateful Dead GDCD4002)
- *THE NORMAN FISHINTACKLE CHOIR
:One Kind Of Bait In The Bucket a
(72 年作"Out The Window"と 73 年作"Shimmy She Roll, Shimmy She
Shake"の Jim Pulte のバンドの 2007 年作。Windstorm)
- *ERIC ANDERSEN:Ghost UponThe Road B
(1988 作。カナダ Alart Music)
- *ELLIOTT MURPHY・IAIN MATTHEWS:La Terre Commune A
(2001 作。トイ Blue Rose)
- *DAVID MASSENGILL:Coming Up For Air A
(1992 作。Flying Fish)
- *SUNSHINE SKIFFLE BAND:Beat It, Blow It, Strum It, Hum It!A
(1992 作。Flying Fish)
- *JEB LOY NICHOLS:Just What Time It Is ¥200
(ブックレットのホッチキスがサビついています。2000 作。
Rough Trade)

(CD/Canada)

- *LONG JOHN BALDRY:Midnight In New Orleans
(6曲収録CDシングル。1993作。Hypertension)
- *ENNIS SISTERS:Christmas(2002作。Warner)
- *DEVON SPROULE:Upstate Songs
(1979/2001作。Bnatural)
- *POLKA DOGS:Songs From Ratbag And Other Gutter
Favourites(1992作。Aural Tradition)
- *PAUL JARRET:Songs From The Serious(1986作。Open Faced)
- *SCHULD & STAMER:You Got The Bread...We Got The Jam ¥1000
(with Long John Baldry。。1998作。Blue Steak)
- *FIGGY DUFF:A Retrospective 1974-1993(1995作。EMI Canada)A

(CD/UK)

- *IAIN MATTHEWS>Contact A
(CD-R。2007作。It's About Music. Com)
- *LYLE McGUINNESS BAND:Acting On Impulse B
(台風被害でトレイ{裏ジャケット}に水濡れ痕。1988作。Line)
- *MATTHEWS SOUTHERN COMFORT:Later That Same Year B
(1970年/1993作。Line)
- *PETER KNIGHT & DANNY THOMPSON
:Peter Knight & Danny Thompson(1995作。Resurgence) B
- *GAVIN SUTHERLAND:Diamonds And Gold(2000作。Corazong) B
- *CATHRYN CRAIG & BRIAN WILLOUGHLEY:Real World ¥1000
(2013作。Cabritunes)
- *RALPH McTELL AND WIZZ JONES>About Time ¥1500
(2016作。Leola)
- *PAUL MILLNS:Unsung Heroes(1997作。The Folk Corporation)
- *JOHN B SPENCER:Left Hand Of Love(1996作。Round Tower)
- *HAYLEY HUTCHINSON:Independently Blue(2004作。HaYLo Media)
- *DAVID LEWIS:No Straight Line(1995作。DejaDisc)
- *ROGER MORRIS:Light Up The Road(2004作。Roger Morris)
- *LEE COLLINSON:Breathless
- *CHRIS THOMPSON:Chris Thompson(2001作。Scenescof)
- *MARTIN JENKINS:Nov Jhivot(1995作。CD-R。Black Crow)
- *MARTYN JOSEPH:Full Colour Black And White
(1996作。Grapevine)
- *TOM YATES:Love Comes Well Armed(2013作。Epona)
- *SAFFRON SUMMERFIELD:The Stonemason's Dream
(2002作。Mother Earth)
- *AUTO DA FE:Songs From Echo ¥300
(ブックレットのホッチキスがサビています。2001作。Hux)

(CD/England)

- *THE TRANSPORTS "A Tale Of Exile And Migration" ¥1500
(featuring Nancy Kerr, Benji Kirkpatrick, Rachael McShane,
Soul Rose, Greg Russell 他。2018作。Hudson)
- *GERRY HALLOM:On The Periphery ¥1500
(1997作。William Boyd Music)

- *BELLA HARDY: Songs Lost & Stolen (2011 作。Navigator) ¥1000
- *THE HIGH LEVEL RANTERS: Gateshead Revisited
(CD-R。1990 年/1999 作。Common Ground)
- *JOE HUTTON: Northumbrian Piper (1994 作。EAR015-2) ¥1000
- *BELLOWHEAD: Matachin (デラックス版。2008 作。Navigator)
- *ASHLEY HUTCHINGS – THE GUV' NOR' S BIG BIRTHDAY BASH
: Live In Concert (1995 作。HTD)
- *MAWKIN・CAUSLEY: The Awkward Recruit (2009 作。Navigator)
- *PAT SHAW AND JULIE MATTHEWS: Lies And Alibis
(1969 作。Fat Cat)
- *MEGSON: The Longshot (2010 作。EDJ)
- *GRAHAM & EILEEN PLATT: Early Birds (1999 作。Grail)
- *DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks (2013 作。Beaechwood)
- *THE GIFT BAND: Live On Tour (2011 作。Scarlet)
- *BRIAN PETERS&GORDON TYRRALL: The Moving Moon
(2000 作。Gaho Music)
- *BRIAN PETERS: The Beast In The Box (1998 作。Pugwash)
- *GORDON TYRRALL: So I've Heard (2000 作。Gaho Music)
- *PAUL JAMES・MARK HAWKINS: Horse
(2001 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *THE BISMARCS: Upstream
(“Traditional Dance Music From England”。EFDSS CD 04)
- *WHAPWEASEL: Skirl Naked (1998 作。Whapweasel Music)
- *WHAPWEASEL: Burn (2000 作。Whapweasel Music)
- *FAIRPORT CONVENTION: Before The Moon B
(2 枚組。“Recorded at Ebbets Field, Colorado 1974”。2002 作。
NMC)
- *FAIRPORT CONVENTION: Fairport – A History A
(4 枚組ボックスセット“Fairport unConventioNal”の4 CD の内
の1枚。全22曲。2002 作。Free Reed)
- *FAIRPORT CONVENTION: Rareport Convention A
(4 枚組ボックスセット“Fairport unConventioNal”の4 CD の内
の1枚。全19曲。2002 作。Free Reed)
- *FAIRPORT CONVENTION: A Fairport History A
(4 枚組ボックスセット“Fairport unConventioNal”の4 CD の内
の1枚。全16曲。2002 作。Free Reed)
- *FAIRPORT CONVENTION: Classic Convention A
(4 枚組ボックスセット“Fairport unConventioNal”の4 CD の内
の1枚。全15曲。2002 作。Free Reed)
- *RICK SANDERS, FRED T. BAKER AND VIKKI CLAYTON
: Carried Away (1995 作。Speaking Volumes) ¥300
- *HUW AND TONY WILLIAMS: Live (1997 作。T. C. S.) ¥300

(CD/Scotland 系)

- *JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE: The Cannie Hour
(スコットランドのゲール語シンガーの J. McIver とブルターニュ
のケルティック・ハーブ奏者の C. Saunier のデュオ・アルバム。
全曲、Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話な
どにインスピレーションを得たトラッド風のゲール語と英語混
在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑のフォーク系 SSW

としての、両方の魅力を持ち合わせている。2011 作。Buda)

*MAIRI SINE CHAIMBEUL:Thall An Loch Aillse

(女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007 作。Macmeanmna)

*WILLIAM JACKSON:Duan Albanach

(Ossian の創設メンバーでスコットランド屈指のハープ奏者 William Jackson の 2003 年のアルバム。前半は自身のハープとティン・ホイッスルによる演奏集で、スコティッシュ・スタイルの粒立ちの良い見事なハープの音色は、耳の掃除をしてくれるほど美しく気高い。後半は Celtic Connections のライブで、スコットランドの古代詩に触発されて作曲した曲集。Mackenzie Sisters に Iain MacDonald, Jerry O' Sullivan, Alasdair Fraser 等の精鋭達をゲストに迎えて、優美かつ空想的な音楽世界を創作する。Mill)

*DAIMH:Moidart To Mabou

(2000 年リリースの Daimh のデビュー作。現在も残っているメンバーは、Angus MacKenzie と Ross Martin {ギター} と Gabe McVarish {フィドル} の三名のみ。改めて聴くと、Colm O' Rua のバンジョー & マンドーラと James Bremner のバウロンが加わった五太郎による音楽は、ケープブレトンの曲を中心にアイリッシュとスコティッシュを加えたおじん臭い選曲で、古いスコティッシュや古いアイリッシュの香りに充ちた音楽で、これはこれでメッチャ心惹かれる。二曲だけだが、Anne Martin のゲール語の清いシンギングは、心に沁みる。2018 年の "The Rough Bounds" が逆に若々しく進化しているのが面白い。2018 作。Daimh)

*NUA:Head Full Of Dreams

(ご存じ Nua は二姫二太郎の世界トップ・クラスのケルティック・バンド。四名の内三名がドイツ人で、残りの一人がオークニー島出身の Catriona Price。Catriona と、もう一人 Michaela Grus の二人の歌姫のシンギングは今が旬なシンギングで胸キュン。Beoga の Niamh Dunne が賛辞を寄せている。2013 作。Liekedeller)

*TWELFTH DAY:The Devil Makes Three

(オークニー島出身の歌姫でフィドル弾きの Catriona Price と各種ハープ弾きでシンガーの Esther Swift の女性の二人組のとびっきりの本作。生き生きとしたスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の色とりどりな花。2014 作。Orange Feather)

*LITHA:Dancing Of The Light

(メンバーは、Aaron Jones {ヴォーカル、ベース、ギター}、Claire Mann {フルート、ホイッスル、ヴォーカル}、Gudrun Walther {ヴォーカル、フィドル、アコ}、Jurgen Treyz {ギター、ドブロー、ヴォーカル} のスコットランドとドイツのピカールの組み合わせ。曲目はアイリッシュが半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリッシュをベースにしつつ、音楽をさらにハイレベルな域にまで高めている。2011 作。Arte)

*ALISTAIR RUSSELL:A19

(元 Battlefield のシンガーでギター奏者の Alistair の 2002 年作。Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker, John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn 等の心からのバックアップで、伝統歌を中心に Andy Irvine や Archie Fisher 等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002 作。Glade)

*UP IN THE AIR: Moonshine

(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie {フイドル、ギター、ヴォーカル} と Davy Cattanach {ハーモニカ、ギター、ヴォーカル} に Iron Horse の Gavin Marwick {フイドル} のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強い Dave のシンギングが素晴らしく、全体として Old Blind Dogs 的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。

Up In The Air)

*CHERRY GROVE: No Time Like Now

(若き女性四名 = Marianne Fraser {ヴォーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フイドル、ヴォーカル}, Sarah MacNeil {ハーモニカ、ヴォーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴォーカル} + 男性 = Grant McFarlane {アコ、ヴォーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えて Marianne 唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014 作。Cherrygrove)

*THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL (1995 作。Attic)

*JENNIFER & HAZEL: Dancing Fingers (1991 作。Attic)

*JENNIFER & HAZEL WRIGLEY

: The Watch Stone (1994 作。Attic)

*COAST: The Turning Stone (2011 作。Ruabhal)

*FIONA KENNEDY: Maiden Heaven ~ Special Edition

(ケルティックなエンジェル・ヴォイスによる夢見心地スコティッシュ・トラッド。"Follow Me" のボーナス曲付。2004 作。Pixie)

*THE SCOVILLE UNITS: The Scoville Units

a

(スーパー・ケルティック・ブルーグラス・バンドのデビュー作。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes、Daily Planet の Leon Hunt、Josh Clark、Rex Preston そして紅一点のシンガー Gina Griffin。2010 作。Get Real)

*SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C

(アイルランド系イギリス人アリッシュ・フイダラーの S. Bradley とはアスマニア島出身で Shooglenifty のフーズ・キ奏者の L. Plump のアリッシュをメインにしたアイルランド ~ スコットランド ~ アストリアスを繋ぐ心と魂が響き合う音楽。。2004 作。Shoogle)

*THE ALEX CAMPBELL TRIBUTE CONCERT

(二枚組ライブ。Allan Taylor, Dougie Maclean, Iain MacKintosh, Hamish Imlach 他。1997 作。T Records)

*BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND

(John McCusker, Kate Rusby, Ian Carr, Andy Cutting, Michael McGoldrick, Phil Cunningham, Eddi Reader, John Doyle 他。2004 作。Pure)

*LASAIR DHE "Flame Of Gold" (2001 作。Macmeanmna)

*AALD NOOST (1994 作。Attic)

*FACE THE WEST: The Wishing Stone (WSFTW002)

(CD/Wales)

*FERNHILL: Canu Rhydd (2010 年。Dysgyfrith cd02)

B

*JULIE MURPHY: Every Bird That Flies

(2016 作。Shells In The Ocean)

(CD/Ireland, Japan)

- *ORPHAN: Saga Of The Ageing Orphan
(東京を拠点に活動するアイリッシュ・バンドの 2003 年のアルバム。
Roisin Dubh)

(CD+Book/Ireland)

- *PETER CONLON: The Genius Of (2012 作。OTR104OTR105) ¥1000

(CD/Ireland)

- *THE CENTER FOR IRISH MUSIC VOL. 1 ¥1000
"Young Irish Musicians Weekend"
(2007 年版の Vol. 1. James Kelly, Tommy Martin, Paddy O'Brien,
Daithi Sproule, Fintan Vallely によるライヴ。全 22トラック。CD-R。
The Center For Irish Music)
- *THE CENTER FOR IRISH MUSIC VOL. 2 ¥1000
"Young Irish Musicians Weekend"
(2008 年版の Vol. 2. Liz Carroll, Dermot Diamond, Tara Diamond,
Tommy Martin, Daithi Sproule によるライヴ。全 14トラック。CD-R。
The Center For Irish Music)
- *THE CENTER FOR IRISH MUSIC VOL. 3 ¥1000
"Young Irish Musicians Weekend"
(2009 年版の Vol. 3. Liz & Yvonne Kane, Eliot Grasso, Daithi
Sproule によるライヴ。全 13トラック。CD-R。The Center For Irish
Music)
- *THE CENTER FOR IRISH MUSIC VOL. 4 A
"Young Irish Musicians Weekend"
(2010 年版の Vol. 4. Martin Hayes, Kevin Crawford, Randal Bayes,
Daithi Sproule そして Danny Diamond によるライヴ。全 13トラック。
CD-R。The Center For Irish Music)
- *THE CENTER FOR IRISH MUSIC LIVE RECORDING VOL. 5 ¥1000
"A Harvest Home"
(2011 年と 2012 年のライヴ音源からの Vol. 5。出演者は、Maighread
Ni Dhomhnaill {3 曲。内 1 曲は Daithi Sproule とのデュエット}, Harry
Bradley, Jesse Smith, Felix Dolan {4 曲。内 1 曲は Harry Bradley の
ソロ}, John & James Kelly {4 曲。内 1 曲は James Kelly のソロ}, Dave
Shepherd, Sean Gavin, Brian Miller {1 曲}, Jesse Smith {1 曲},
Eileen Gannon {1 曲} 他。全 15トラック。CD-R。The Center For Irish
Music)
- *IRISH FOLK FESTIVAL 2009 "Between Now And Then" ¥1000
(David Munnelly Band {Walnut Valley Bluegrass Festival のライ
ヴ音源から 4 曲}, Niamh Parsons & Graham Dunne {2009 年 Graham
Dunne 録音による新録曲 4 曲}, Lunasa の Donogh Hennessy 録音によ
る新録曲 4 曲} などの他全 16 トラック。2009 作。Magnetic)
- *THE IRISH FOLK FESTIVAL "Rainbow Expedition" ¥1000
(Beaga, Liadan, Griogair, Niamh Ni Charra & Friends の全曲未
発表音源からの全 16 トラック。2008 作。Magnetic)
- *3 TRIUR: Omos
(Peadar O Riada {コンサティナ}, Caoimhin O Raghallaigh {ハルディングフェ
-ル}, Martin Hayes {フイドル} のトリオ "3 Triur" の三枚目。全曲

Peadar の自作曲。Peadar はアイルランドの村々で伝承されてきた音楽、その音楽を継承し、演奏し、作曲した偉大な音楽家達やその音楽に磨きをかけてきた音楽家達に敬意を払い、自身が作曲した音楽を三人で演奏したアルバム。全 14 トラック。2013 作。

Peadar O Riada)

- *THE SAILOR'S CRAVAT:The Sailor's Cravat
(Paddy O'Brien のアイリッシュ・グループ。メンバーは Paddy に Tom Schaefer {フイドル}, Paul Wehling {ブズーキ} に Paddy の奥方の、シンガーで小説家 {の Erin Hart の四名。Sean Ryan や Paddy Fahy 等のフイドル奏者作曲のダンス曲等を含む様々なダンス曲を多様な表情で楽しませる。もうこれは熟練の技、あうんの音楽としか言いようのない螺旋模様を描いて舞うアイリッシュ・ミュージックの連続。2011 作。New Folk)
- *PADDY O'BRIEN:Mixing The Punch
(Sailor's Cravat のリーダーで名アコ奏者の Paddy O'Brien の 1947 年製のボタン・アコーディオンによるソロ。2011 作。New Folk)
- *COMAS:Charge
(Solás と Lunasa を掛け合わせて二で割ったようなアイリッシュ・バンド。メンバーは Kevin Burke のいとこの Aidan Burke {フイドル}, Philip Masure {ギター、シタン、ブズーキ}, Jackie Moran {ハウロン、パーカッション} そして Isaac Alderson {フルート、リアン・パイプス} の計 4 名。ゲスト: Sylvain Barou。2012 作。Appel)
- *PADRAIGIN NI UALLACHAIN:Ailleacht (Beauty)
(ゲスト:Iarla O Lionaird, Steve Cooney, Laoise Kelly 他。ゲール語歌詞&歌詞英訳&曲目解説付。2005 作。Gael-Linn)
- *AMELIA HOGAN:Transplants: From The Old To The New ¥1000
(Amelia Hogan はアイルランド系米国人アイリッシュ・シンガー。凜としたシンギングは、70 年代の女性トラッド・シンガーをホーフツさせる見事さ。米国から珠玉のアイリッシュ・トラッド。2013 作。Amelia Hogan)
- *IRIS NEVINS:String Theory ¥1000
(“Celtic Tunes Played On Harp, Guitar & Wired Strung Harp”。2012 作。Iris Nevins)
- *MOHER:Out On The Ocean(2004 作? CBM) B
- *ANTOIN MacGABHANN & MICK O'CONNOR
:Doorways & Windowsilks(2010 作。自主制作盤) B
- *OIRIALLA:Oirialla B
(Gerry O' Connor, Gilles Le Bigot, Nuala Kennedy, Martin Quinn の 4 人組。2012 作。Lughnasa)
- *FRANK CASSIDY:Nil Gar Ann! B
(with John Doherty.“Traditional Fiddle Music From Donegal”。2008 作。CNF005)
- *PEADAR O RIADA:Laoi Na Laoithe(2010 作。POR 001) B
- *TAKUJI TAMURA & YUKIO KASHIWAGI:Strange But True B
(2007 作。Takuji Tamura&Yukio Kashiwagi)
- *PAUL BRADY:The Liberty Tapes A
(録音 1978 年。2001 作。Pee Bee)
- *A WOMAN'S HEART “A Decade On”(1992 作。Dara) ¥1000
- *SHARON SHANNON:Each Little Thing(2003 作。Daisy) ¥1000
- *SHARON SHANNON:Spellbound(1998 作。Grapevine) ¥1000

- *LEN GRAHAM:Do Me Justice(1983 作。Claddagh) ¥1000
- *HECTOR ZAZOU:Lights In The Dark ¥1000
(Lasairfhoina Ni Chonaola,Kate McMahon,Breda Mayock,1998 作。
Detour)
- *JASON O'ROURKE:The Northern Concertina ¥1000
(2015 作。Jason O'Rouke)
- *THE OUTSIDE TRACK:Light Up The Dark ¥1000
(2015 作。Lorimer)
- *IARLA O LIONAIRD:Invisible Fields ¥1000
(2005 作。Real World)
- *SKIRM & DEZI DONNELLY:Welcom ¥1000
("Live In Hamburg".1995 作。Magnetic Music)
- *CHRIS NEWMAN & NI CHATHASAIGH:Christmas Light ¥1000
(2013 作。Old Bridge Music)
- *MARGARET BARRY:Ireland's Own(PTICD 1029) ¥1000
- *BREAKING TRAD:Breaking Trad(2015 作。Breaking Trad)
- *THE NE'ER DUWELS:The Ne'er Duwels(2015 作。Ne'er Duwels)
- *SEAMUS TANSEY:Jigs,Reels & Airs+THE COLEMAN COUNTRY
CEILI BAND(1993 作。GTD Heritage)
- *CHRISTY MOORE:Voyage(1989 作。WEA)
- *CRISTY MOORE:Lily(2016 作。Columbia) ¥1000
- *KATHLEEN LOUGHNANE:Harping On ¥1000
(2002 作。Reiskmore Music)
- *JAMES CARTY:Hiding Daylight In The Dark Corners ¥1000
(2017 作。Racket)
- *BOHINTA:Sessions(1997 作。AMCD001)
- *KEVIN MADDEN:The Sugar Loaf(2015 作。Kevin Madden)
- *TERENCE WINCH,MICHAEL WINCH AND JESSE WINCH
:This Day Too
("Music From Irish America".2017 作。Celtic Thunder Music)
- *THE WILLIS CLAN:Chapter One - Roots(2012 作。Willis Clan)
- *OISIN Mac DIARMADA WITH SAMANTHA HARVEY
:The Green Branch(2013 作。CPCD004)
- *SONNY CONDELL:Swallows And Farms
(2003 作。Irish World Music)
- *THE LONG NOTES:The Long Notes
(Colette O'Leary, Jamie Smith, Brian Kelly,2008 作。JS002)
- *AOIFE:The Turning Of The Tide(2002 作。Celtic Collections)
- *KYLE CAREY:North Star(2014 作。Kyle Carey)
- *JAMES KEANE:Heir Of The Dog(2012 作。New Folk)
- *BISCANTORAT:Sound Of The Spirit From Glenstal Abbey
(2004 作。Hummingbird)
- *JOHN O CONNELL:The Maid Of Ballingarry(ED001)
- *DAVE O'FLAHERTY:The Sea Around Us(Mudamusic)
- *MARTIN McHUGH:The Master's Choice(2013 作)
- *DAVID DEE MOORE:The Sun,The Moon.The Stars And Other
Moving Objects(2013 作。DDMCD01)
- *SEAMUS WALSH:Clare Accordion(1996 作。Ceol Music)
- *MUIRIS O SCANLAIN:Teanam Ort!(2003 作。DCMS 0103)
- *JIMMY CROWLEY:Jimmy Crowley(1990 作。K-Tel)

- *TIM DENNEHY:A Thimbleful Of Song(1996 作。Sceiling)
- *TIM DENNEHY:The Blue Green Door(2002 作。Sceiling)
- *COLM NAUGHTON:The Space Between The Notes
(2013 作。Colm Naughton)
- *THE ART OF UILLEANN PIPING Volume 3 Tutor CD
(2000 作。Na Piobairi Uilleann)
- *STEFAN HANNIGAN:The Bodhran Book Demo CD(2000 作。Ossian)
- *ALEC FINN:Blue Shamrock(1994 作。CBM)
- *FRANK HARTE&DONAL LUNNY:My Name Is Napoleon Bonaparte
(ナポレオンにまつわるバラッド集。2枚組。全26曲。2001 作。Hummingbird)
- *MAIRTIN O'CONNOR:Rain Of Night 2003 作。Mairtin O' Connor)
- *DECLAN MASTERSON:Heartland(FRCD05)
- *HUGH HEALY AND MICHAEL O'CONNELL:We Were Drinking And
Kissing The Ladies(2010 作。Killeenmusic)
- *EILISH O'CONNOR WITH FRIENDS:Sugra(TODCD 2002)
- *NIALL O'CALLANAIN:Strings & Things(Peermusic)
- *JUST TRADITIONAL-GEOL DA PIOBAIRE
("Music Of Two Pipers".by Billy McCormick & Adrian Jefferies。
2004 作)
- *MARINA CASSIDY:Marina Cassidy(Harpbeat)
- *JOHN O' DRISCOLL:Dharma(2003 作。Jason O' Driscoll)
- *NA DORSA:The Wild Music Of The Gael(2000 作。Na Dorsa)
- *JERRY O'REILLY:Down From Your Pulpits, Down From Your
Thrones!
- *SEAN GARVEY:The Bonny Bunch Of Roses
(2003 作。Harry Stottle)
- *SEOIRSE O' DOCHARTAIGH:Tabhair Ar Als An Oiche Fireir
(2000 作。Errigal)
- *BRENDAN O'Regan:Slow Music For Guitar
(2000 作。Third Ear Music)
- *AMERGIN:The Gypsy Princess(2001 作。Green Note Music)
- *SHASKEEN:Atlantic Breeze(CDFA 3504)
- *SHASKEEN:The Mouse Behind The Dresser(CDFA 3505)
- *SIORRAIONN BEIRT BOTHAR(CD-R。2006 作。Iontaisi)
- *BRENDAN LOUGHREY:Atlantic Breeze(2002 作。ABL 201)
- *URSULA CONNOLLY:Picture Of Myself
(2000 作。Ursula Connolly)
- *JOHN LEO CARTER & CO:Candyfloss Girl(2003 作。Circle)
- *MUIRIS O' SCANLAIN:Teanam Ort(2003 作。DCMS0103)
- *DICKY DEEGAN:By The River Of Gems
(タスマニア島のイリアンパイプ奏者。PX1936)
- *NOEL SHINE & MARY GREENE:The Land You Love The Best
(Tigerdog)
- *NOEL SHINE & MARY GREENE:Unspoken Lines(Tigerdog)
- *DAN HEAL & CIARAN O'RAI&GHALLAIGH:The Windy Turn(Dart)
- *SEAN O' DRISCOLL:Celtic Music(1997 作。Castle View)
- *GAEL FORCE:Storm(1994 作。Goatshed)
- *TRE:One(1998 作。TRE)
- *MAIDHE DAININ O SE & CAOIMHIN O SE:O Thuaidh!
(2001 作。Maidhe Dainin O Se & Caoimhin O Se)

- *NOEL LENAGHAN:No Trouble At All
(2003 作。Long-eared Owl)
- *FREDDIE WHITE:Close To You(1991 作。EMI)
- *KARL NESBITT:Vistapoint(2009 作。Karl Nesbitt)
- *JACK AND JIMMY COEN:Traditional Irish Music On
Flute And Guitar(2001 作。COEN01)
- *MAEVE TONER:Just For The Record(Maeve Toner)
- *COLIN NEA:Between The Jig & The Reels(2012 作。CNCD001)
- *CHRISTY O' LEARY·BERT DELVERT:Song's Sweet Caress
(2003 作。HDCD 01)
- *BAREFIELD:Between The Sets
("Traditional Irish Music From County Clare"。2003 作。
TNCO02)
- *INSTANT TIN WHISTLE IRISH MELODIES
("20 Well known Irish Melodies Played On The Ten
Whistle"。A Mally Production)
- *CELTIC HEART(1993 作。BMG)
- *MEETING OF THE WATERS
(Sharon Shannon, Mike Scott, Rankin Family, Nomos, Emmylou
Harris 他。1997 作。Grapevine)
- *SIOL/SEED
(Martin Hayes, Karan Casey, Andy Irvine, Tommy Hayes, Ronan
Browne, Maire Breathnach, Mairtin O Connor 他。Agherabaum)
- *BOHINTA:Bonnie Winds(シングル CD。1996 作。Velo)
- *RON KAVANA:Irish Ways ¥3980
(4 枚組 CD。副題"The Story Of Ireland In Song, Music And
Poetry"。本 [P122] は紀元前 9000 年から 2006 年までのアイルラン
ド年表付。2007 作。Proper)
- *COLM O' DONNELL:Heart Strings(2002 年?Sound) ¥300

(CD 付属解説書/Ireland)

- *HARRY BRADSHAW:Michael Coleman 1891-1945 ¥100
(二枚組 CD の "Michael Coleman 1891-1945" の付属解説書。P116。
1991 年/二刷り 1993 作。Gael-Linn)

(CD/Australia)

- *KETE BURKE & RUTH HAZLETON:Sommer's Lonesome Tale
(2007 作。Tradsville)
- *WONGAWILLI:Australian Tradition ¥300
(1998 作。Musica Pangaea)

(CD/Sami {Lapland})

- *JOHAN ANDERS BAER:Guovssu(1997 作。Dat)
- *NILS-ASLAK VALKEAPAA:Goase Dusse(1994 作。Dat) ¥1000

(CD/Finland)

- *ARTO JARAVELA & KAIVAMA:Arto Jaravela & Kaivama
(2012 作。Salt Lady Music)
- *MARJA MATTLER:Vesi ¥1000
(Gabriel Yacoub プロデュースによる Marja Mattler の北歐的浮遊感)

あるたおやかなフォーク。歌詞英訳付。2000 作。Isis)

(CD/Sweden)

- *HOVEN DROVEN: Hippa
(Hoven Droven の Great な 2001 年作。Home)
- *HOVEN DROVEN: Turbo (Great! 2004 作。Home)
- *NARA: Om (2006 作。Caprice)
- *ULRIKA BODEN: Ratt Nu Ar Det Pa Tiden (2004 作。Drone)
- *KEBNEKAJSE: Electric Mountain (1973 年/1993 作。Resource)
- *KJELL-ERIK ERIKSSON: Offerdalslatar (2002 作。Giga)
- *SIMON SIMONSSON, OLLE SIMONSSON, KJELL-KRIK ERIKSSON
& JOEL BREMER: Pigtjusarsvang (2013 作。Dimma)

(CD/Norway 他)

- *MARI BOINE: Eight Seasons (2001 作。Universal)
- *MARI BOINE・INNA ZHELANNAYA・SERGEY STAROSTIN
: Winter In Moscow (2001 作。Jaro)
- *BLINK: Blink (2011 作。Nordcd)
- *EPLEMOYA SONGLAG: Eplemoya Songlag (2010 作。Nordcd)
- *FRIBO: The Ha' O Habrahellia (2006 作。Fellside)

(CD/Denmark)

- *HAUGAARD&HOIRUP: Let's Dansk! (2001 作。Stockfish) ¥1000
- *AFENGINN: Akrobakkus (2006 作。Tutl)
- *SERRAS: Second Band (2008 作。Go')
- *DE FRIES & D. BECK: Balance
("Traditional Danish Fol Music"。2003 作。BAL0103)

(CD/Germany)

- *OUGENWEIDE: Ungezwungen (1977 年/2007 作。Bear Family) B
- *LITHA: Dancing Of The Light
(Litha は Cara の Gudrun Walther {ウォーカル、フイドル、アコ} と Jurgen
Treyz {ギター、トブロー、ウォーカル} に Aaron Jones {ウォーカル、ベース、ギター}
& Claire Mann {フルート、ホイッスル、ウォーカル} の四人組。曲目はアイリッシュ
が半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリ
ッシュをベースにしつつ、音楽をさらにハイレベルな域にまで高
めている。2011 作。Artes)

(CD/Holland)

- *FOLQUE: Folque (1974 作。1993 年。Pan) B

(CD/Belgium, Flanders)

- *SHANTALLA: Shantalla (デビュー作。2000 作。Wild Boar Music)
- *MARC MALEMPRE・REMI DECKER: Codicille 2013
("Chanson Populaire De Wallonie"。2013 作。Home)

(CD/France)

- *JOAN FRANCES TISNER: 12 Receptas De J. A. Lespatlut
(2004 作。Menestres Gascons)
- *ROSINA DE PEIRA: Sul viu - Gospel d' Oc

(2003 作。Rosina de Peira)

(CD/Basque)

- *BENITO LERTXUNDI & EUSKADIKO ORCHESTRA SINFONIKOA
:Zuzendaria Enrique Ugarte(Elkarlanean) ¥1500
- *ERRAMUN MARTIKORENA:Olerkarien Oihartzun ¥1500
(1993 作。Elkarlanean)
- *OSKORRI:Hi Ere Dantzari(1991 作。Elkar) ¥1500

(CD/Spain)

- *JOAQUIN DIAZ:Romances(1988 作。Saga) B
- *XOSE MANUEL BUNDINO:Arredor(2000 作。Virgin) A
- *HEVIA:Tierra De Nadie(2000 作。EMI-Odeon)

(CD/Italy)

- *ROSAPAEDA:In Forma Di Rosa(2001 作。Sottosuono)
- *MARCHESELLI TILUZZI "Balli Bolognesi"(Tasa Dancer)
- *BANDA BRISCA:Io Ballo Brisco(2010 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *ATLANTESONORO:Alhambra(2006 作。LaFrontiera)

(CD/Russia)

- *INNA ZHELANNAYA:Izvorot(2014 作。Inasound) B

(CD/Poland)

- *BERKLEDDY:Muzyka Nasluchana
("New Folk Music From Poland".1998 作。Orange World)

(CD/Hungary)

- *MAKAM:A Part(1998 作。Fono) ¥1000
- *MAKAM:Anix(2003 作。FolkEuropa) ¥1000
- *MAKAM:Almanach(2004 作。FolkEuropa) ¥1000
- *MAKAM:Zarandokenek(2008 作。Z Paravan BT) ¥1000
- *MAKAM & KOLINDA
"Bognar Szilvia,Szirtes Edina Mokus"
(2011 作。Z Paravan BT) ¥1000
- *MARTA SEBESTYEN:Kismet(1996 作。Hannibal) B

(CD/Yugoslavia)

- *DARKO RUNDEK & CARGO ORKESTAR
:Live In Belgrade(2009 作。Menart)

(CD/Kurdistan)

- *NIZAMETTIN ARIC:Azadi(2011 作。Kalan)

(CD/Persian Pop)

- *ダーリッシュ:The Best Of 5(1991 作。Catex)
- *SHAHROKH:Mahe Shabe Chardah(1992 作。Catex)

(CD/Greece)

- *ディオニッシス・サヴォプロス:Trapezakia Exo(1990 作。Lyra)

(CD/Algeria)

- *ALLAOUA ZERROUKI:Les Grands Maitres De La Chanson
Kabyle Vol.3
(ブックレットのホッチキスがサビついています。1991作。Club Du
Disque Arabe)
- *CHERIF KHEDDAM:Les Grands Maitres De La Chanson
Kabyle Vol.4
(ブックレットのホッチキスがサビついています。1992作。Club Du
Disque Arabe)
- *WARDA:A L'Olympia Vol.2
(ブックレットのホッチキスがサビついています。1992作。Club Du
Disque Arabe)

(CD/Guinea)

- *MAMA DIABATE:Koffi Cola Na Yo
(1993作。Popular African Music)

(CD/Colombia)

- *LISANDRO MEZA:Lisandro's Cumbia(1991作。World Circuit)

(CD/Malaysia)

- *S. M. SALIM:Apa Dah Jadi(1991作。Warner)

(CD/Others)

- *LA CUCINA:Bloom
(1997作。英国のエスノポップ・バンド。Osmosys)

[LP]

(LP/USA)

- *KERRVILLE FOLK FESTIVAL 1980 A
(Gary P. Nunn,Uncle Walt's Band,Mary McCaslin & Jim Ringer,
Spider John Coerner 他。1980作。Kerville Folk Festival)
- *BOB BOVEE:The Roundup(1979作。Train On The Island) C
- *JEANIE STAHL:All Grown Up(1987作。Daring) A
- *BUTCH HANCOCK:OWN & OWN(2枚組。1991作。Demon) A
- *JERRY JEFF WALKER:Gypsy Songman A
(2枚組。1986年/1987作。Sawdust/Line)
- *CALICO:Vol. II(1997作。United Artists) A
- *ELVIN BISHOP:Hog Heaven A
(カット盤。w. Amos Garrett, Maria Muldaur 他。1978作。Capricorn)
- *STEVE GOODMAN:Unfinished Business A
(1987作。Red Pajamas)
- *THE BANDED GECKOS:The Banded Geckos A
- *JAMES LEE STANLEY:Live(1988作。Beachwood) ¥1000
- *JOHN PRINE:Aimless Love(1984作。Oh Boy) ¥1000
- *JOHN PRINE:German Afternoon(1986作。Oh Boy) ¥1000
- *SUNDOGGS:Unleashed(1989作。Kaleidoscope) ¥1000
- *DINOSAURS:Dinosaurs(1988作。Relix) ¥1000
- *LIVING EARTH:Living Earth(1988作。Relix) ¥1000

*KEITH WHITELEY:Don't Close Your Eyes ¥1000
(カット盤。1988 作。BMG)

(LP/USA{Celtic Harp})

*KIM ROBERTSON: Moonrise(1985 作。Invincible) C

(LP/CANADA)

*MURRAY McLAUCHLAN: Heroes(1984 作。True North) A

*MURRAY McLAUCHLAN: Midnight Break(1985 作。True North) A

*BRUCE COCKBURN: Big Circumstance(1988 作。米 Gold Castle) A

*KEN WHITELEY: Bright Side(1987 作。Pyramid) A

(LP/ENGLAND, SCOTLAND, IRELAND) 元々封なし

*ARTY McGLYNN・NOLLAIG CASEY: Lead The Knave ¥2500
(1989 作。Ringsend Road)

*GREAT MOMENTS OF VINYL HISTORY(1988 作。Special Delivery) A

*HARVEY ANDREWS: Songs That Harry Wrote ¥1000
(1988 作。Hypertension)

*TRAVELLERS "Songs, Stories And Tunes From English
Gypsies"(1985 作。Topic) ¥1000

*MIKE WHELLANS: Swing Time Johnny Red A
(ジャケット裏面の最下部に若干破損があります。1990 作。Temple)

*MARTIN STEPHENSON & THE DAINTEES: Boat To Bolivia ¥1000
(ジャケット裏面の最下部に若干破損があります。1986 作。
Kitcenware)

*THE LIZARDS: Promised Land ¥1000
(ジャケット裏面の最下部に若干破損があります。1991 作。Festival)

*JOHNNY DUHAN: Family Album(1990 作。Round Tower Music) A
(LP+CD/ENGLAND)

*BELLOWHEAD: Matachin ¥1000
(イングランド屈指のトラッド・バンド"Bellowhead"のボーナス CD
付 LP 限定盤。2008 作。Navigator)

(LP/FRANCE) 元々封なし

*PIERRE BEBSUSAN: Musiques(1979 作。Cezame) ¥2000

*LA CHIFONNIE: Guinbarda(1979 作。スペイン CFE) A

(LP/ROSSIA) 元々封なし

*THE DMITRI POKROVSKY ENSEMBLE: The Wild Field ¥1000
(1991 作。Real World)

(LP/EUROPE)

*EUROPEAN FOLK & FAIRY TALES ¥1000
(Told by Anne Pellowski。1968 作。CMS)

[中古LP] 特記なしは中古盤としてほぼ新品同様

*DON NIX: Hobos, Heroes And Street Corner Clowns ¥5000
(開封新品。1973 作。Stax)

*ROBERT EARL KEEN, JR. : No Kinda Dancer(1984 作。Philo) A

*BILL MORRISSEY: North(1986 作。Philo) A

- *MICHELLE SHOCKED:The Texas Campfire Tapes A
 (盤は新品同様ですが、ジャケット最上部が数センチ傷んでいます。1986作。Cooking Vinyl)
- *JIM PAGE:Hot Times(1978作。WHID-ISLE) A
- *TERRY ALLEN & THE PANHANDLE MYSTERY BAND
 :Smolin The Dummy A
 (サンプル盤で、盤は新品同様ですが、ジャケットは傷んでいます。
 1980作。Fate)

[カセットテープ]

(カセット/USA)

- *ROSALIE SORRELS
 :Be Careful, There's A Baby In The House
 (1990作。Aural Tradition)
- *JIM POST & FRIENDS(1987作。Flying Fish)
- *POP WAGNER:Coffee's Ready(1983作。Pop Wagner)
- *BILL & BONNIE HEARNE:Live(PDRC1001)
- *HEIDI MULLER:Between The Water & The Wind(CM101)
- *DAVID REA:Feelin' Good(CRM-001C)
- *JIM TAYLOR:Little Rose Is Gone(PearlMae Music)
- *DAVID ROTH:Another Side Of David Roth
 (1990作。Maythelight Music)
- *DAVID ROTH:May The Light Of Love
 (1988作。Maythelight Music)

(カセット/Ireland)

- *DERVISH:The Boys Of Sligo(1989作。Sound) ¥2500
- *ANAM:Anam(1994作。Anam)
- *ANAM:Saoirse(1995作。Anam)
- *ANAM:First Footing(1997作。JVC)
- *COLM O MEALOID:Cead Slan le Camus
 (1987作。Clo Iar-Chonnachia)
- *JOHNNY MHAIRTIN LEARAI:Contae Mhuigheo
 (1988作。Clo Iar-Chonnachia)
- *CAISLEAN UI NEILL:Coilin Cliseam
 (1989作。Clo Iar-Chonnachia)
- *SEAN de hOra:O Chorca Dhuibhne
 (1989作。Clo Iar-Chonnachia)
- *TOM LENIHAN:Paddy's Panacea
 ("Songs Traditional in West Clare".1992作。Ossian)
- *DANNY DOYLE:Twenty Years a-Growing(1987作。Rego)
- *IN GOOD FORM "Platform"
 ("Traditional Irish Music And Ballads".IDLP2019)
- *ROUND THE HOUSE "Music For The Sets—Volume 1
 (1986作。NPU002)
- *IRISH TRANQUILITY
 ("14 Classic Irish Instrumentals".GTD Heritage)

(カセット/England)

- *NIGEL EATON & ANDY CUTTING:Panic At The Cafe

(1993 作。Panic Atc)
*BRODSIDE "Songs From The Land Of The Broads"
(Kipper Family 他。1989 作。TC0016))

(カセット/Scotland)

*WOLFSTONE: Wolfstone (1989 作。Rowan)
*SANDY BELL' S CEILIDH
("With Aly Bain, Dick Gaughan, The McCalmind and Others")。
1988 作。Greentrax)

(カセット/Turkey)

*MHAMUT TUNCER: Gunah (Gunes) ¥200
*ISMAIL TURUT: Yarali Gelin (Harika) ¥200

(カセット/Jewish, Klezmer)

*THE JOEL RUBIN KLEZMER BAND: Brave Old World
(Global Village)
*FELIPE CURIEL: Sefarad Cancionero Judeo-Espanol
(Saga)

(カセット/Thailand)

*カラバオ: Welcome To Thailand (1987 作。オルター・ポップ)

(カセット/沖縄マルフレコード)

*上原正吉: 愛唱歌集①
*山内昌春節 特集Ⅱ
*大浜安伴: 八重山のうた
*八重山民謡舞踊曲集②
*津波恒徳独演集
*佐久田盛朝: かぎやで風・浜千鳥
*練習用 野村流 謡・三絃・独唱
*田端盛信: 島の女 (開封)

*2021年最初で最後のカタログはバーゲンリスト & 『卑弥呼の時代』宣伝リストみたいになってしまいました。今回の本は義兄で歴史画家の梅田紀代志さんに多くの絵を描いてもらいました。卑弥呼の時代・弥生時代の日本人・日本社会をリアルに「見える化」出来たかと思っています。

*新譜のリリースが少ないのは、コロナ禍でレコーディングがしづらくなったことに加え、特に欧米のフォーク系の場合、コンサート会場でCDを販売するスタイルが出来上がっていて、コロナ禍でコンサートが行えなくなったためかと考えられます。

*そうした状況下で制作された新譜は、Fairportのように過去のライブ音源を編集したもの、或いは Murray MacLauchlan や K. Polwart & D. Milligan や Karen Matheson や Spiers & Boden のようにホームレコーディング・スタイルで制作されたものが多いようです。そこから生まれた音楽は人のぬくもりのあるものだったり、音楽する喜びが感じられるものであったりします。そういう意味ではどれもコロナ禍だから生まれ得た貴重な音楽と言えるでしょう。

*2021年という年は一回限りの通販カタログになりましたが、来年は二回くらいは発行したいと思っています。

*では、2021年最初で最後のカタログからの注文と本の予約注文をお待ちしています。そして皆さまお元気でお過ごし下さい。(船津)